◆医学専攻について

１．医学専攻の概要

高度の専門化と多様化を遂げてきた医学研究は、個別専門研究領域の境界を越えた集学的研究の時代に入ってきており、包括的・総合的医学知識と技術の取得、社会との連携を視野に入れた見識と倫理性、新領域・融合領域の開発につながる自主性と独自性を備えた能力の修得が必須の要件となってきている。

このため、医学研究科博士課程（４年制一貫制）を１専攻に統合し、従来の専門分野に加えて臨床・基礎・社会医学を横断する大学院教育コースを設置した。高度専門研究者養成を行う専門分野での教育と医学研究科全域にわたる知識の習得をすることにより、真に『国際的に強力なリーダーシップを発揮しうる優秀な医学研究者・医療専門家』の育成を図る。

2022年度入学者より、大学院教育コースにおいて学位論文の中間ヒアリングとチューターシステムを導入することによって、大学院生の研究進捗状況をチェックし、必要に応じてアドバイスを与える。研究レベルの向上をサポートする体制を強化する。医学専攻博士課程では２年次あるいは３年次に中間ヒアリングにおいてチューターが研究進捗状況をチェックし、適切な研究方針で研究しているか、順調に研究が進展しているかなどを確認・審査する。

２．医学専攻の教育課程

博士課程の修了の要件は、同課程に 4 年以上在学して 30 単位以上修得し、「医科学研究入門 I,II（2025 年度以降入学者対象)」を履修のうえ合格し、研究指導を受け、かつ、医学研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。

なお、修得すべき 30 単位等の履修方法は原則として、次の表のとおりとする。

2022 年度以降入学者

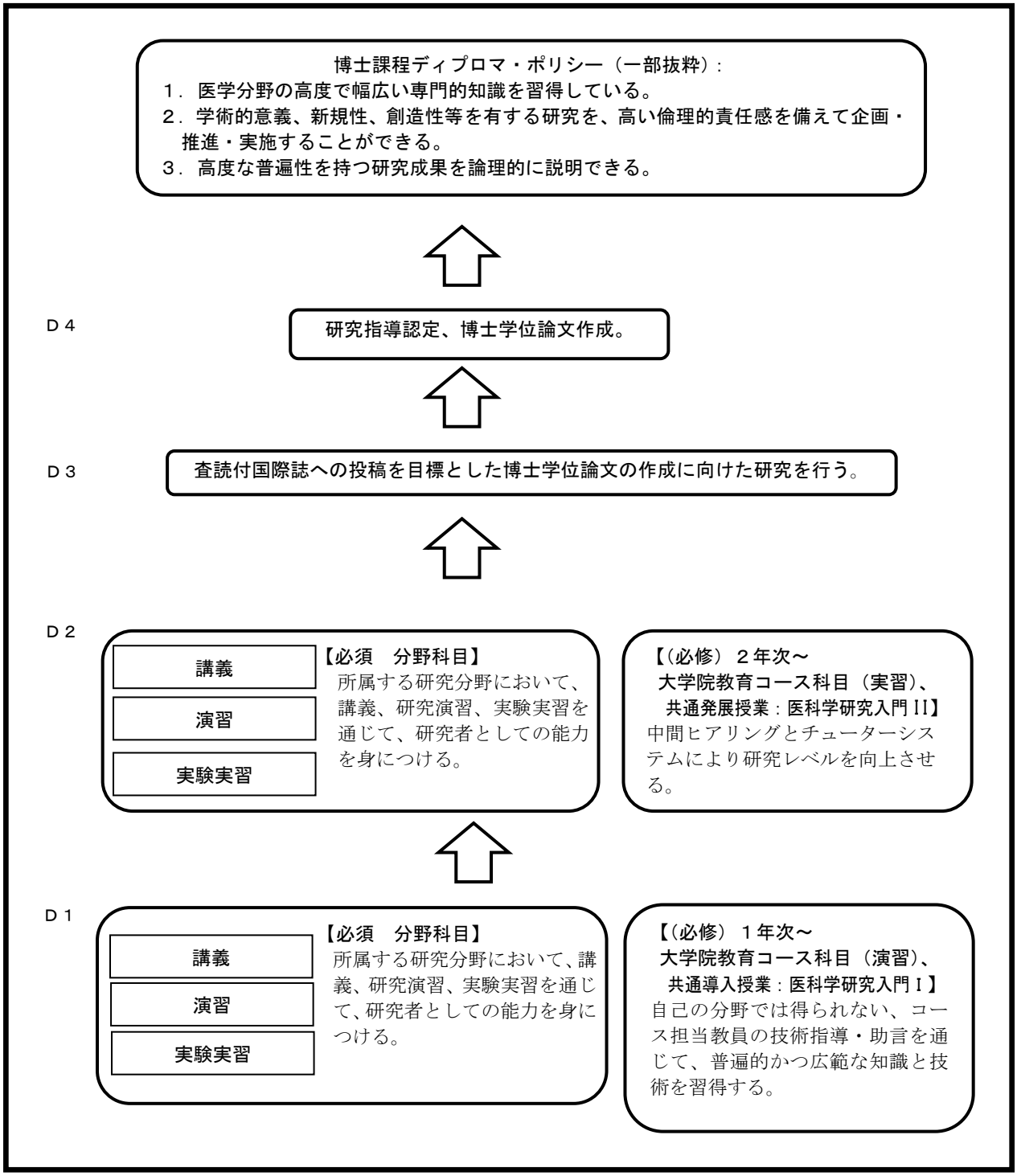
<table>
<tr><th colspan="2">科目</th><th>1 年次</th><th>2 年次</th><th>3 年次</th><th>4 年次</th><th>合計</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="3">分野科目</td><td>講義</td><td>4 単位</td><td>4 単位</td><td></td><td></td><td rowspan="3">24 単位</td><td rowspan="3">所属する研究分野の科目</td></tr>
<tr><td>演習</td><td>4 単位</td><td>4 単位</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>実験実習</td><td>4 単位</td><td>4 単位</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">共通導入授業</td><td>医科学研究入門 I</td><td colspan="4">－
（１年次～）</td><td rowspan="4">6 単位</td><td rowspan="3">大学院教育コースの必修科目
（2025 年度以降入学者対象。
単位付与なし）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">共通発展授業</td><td>医科学研究入門 II</td><td></td><td colspan="3">－
（２年次～）
※2026 年度開講予定</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コース科目</td><td>演習</td><td colspan="4">4 単位（１年次～）</td><td rowspan="2">大学院教育コースの科目
（「実習」を履修するには同じコースの「演習」を取得することが条件となる。「実習」は中間ヒアリングに合格することで単位取得ができる。）</td></tr>
<tr><td>実習</td><td></td><td colspan="3">2 単位（２年次～）</td></tr>
</table>

※2021 年度以前入学者の大学院教育コース科目については、同一年度に演習と実習を併せて履修することができる。

注）原則として 1 年間（年度）に履修科目として登録することができる単位数は 42 単位を超えることはできない。
ただし、次の場合は超過を認める。

(1) リーディングプログラムの履修者がリーディングプログラム科目を履修する場合
(2) 政策のための科学プログラムの履修者が政策のための科学プログラム科目を履修する場合
(3) 社会健康医学系専攻特別コース・特別プログラム（MCR コース、遺伝カウンセラーコース、1 年制 MPH コース、知的財産経営学プログラム、臨床統計家育成コース）の履修者が、特別コース・特別プログラムにおける必修科目等を履修する場合

３．医学専攻博士課程のコースツリー



◇　医学研究科大学院教育コース

１．大学院教育コースの目的

１）従来の「大学院専門分野」に加えて、基礎系・臨床系・社会医学系を横断する「大学院教育コース」を系統的な教育ユニットとして設置し、今日医学研究者に必要とされる幅広い素養・自主性・知識・技術の系統的な修得に備える。

２）大学院生は１つの専門分野に所属し研究するとともに、研究テーマに関連のあるいずれかのコースに参加する。これにより徹底した個人指導とともに普遍性かつ広範な知識と技術を修得する。その結果、新たな視点の導入や共同研究の可能性など異なった視点からの研究展開も検討される。

３）大学院教育コースでは、所属分野で取得不可能な技術を参加教室での実習ローテーションにより取得するとともに、定期的に開かれるコースミーティング（研究会）で研究成果・経過を発表し、相互討論を行い、コースに参加している他分野の教員より助言を受ける。すなわち、学生の自主性に従って随時必要な視点からの適切なアドバイスが受けられる。

４）指導的研究者育成をめざす本研究科の目的に基づき、学生は、これらの場である各コースの研究発表会・ミーティングやプログラム作成などにあたり、自主的な教育・運営能力も習得する。

５）国際的コミュニケーション能力、研究・医療倫理、知的財産管理等を全コース共通の集中講義により修得する。

６）コース参加教員は各コース毎にコース会議を組織し、学生の取得目標の設定、技術指導・目標達成度のチェック、集中講義、先端セミナーなどを行う。

２．大学院教育コース履修について

学生は指導教員との協議の上、研究テーマに関連のあるコースを自由に選択することができる。原則として、履修するコースは最も研究テーマに関連の深い１コースであるが、それ以外のコースの活動に参加することも可能である。他分野からの教員・学生が参加する各コースでの研究発表会で相互討論し、個々の分野では得られない技術および助言を受ける。さらに RI センター、動物実験センター、形態学技術支援、プロテオミクス解析、動物行動解析、医学・生物統計相談等の技術支援も適宜受ける。教員も、基礎・臨床の教室に関わらず同じコースに参加し、参加コースも流動的でよいこととする。全コース共通テーマとして、国際的に通用するコミュニケーション能力、研究倫理、知的財産などの集中講義、セミナーなども行う。

３．大学院教育コース運営について

教員が主となるコース会議において、各コースの履修目標・内容の検討が継続的に行われる。またコース運営担当院生もコース会議に出席し、運営を補助し、積極的に提言する。

コースミーティング（研究会）は原則、月１回（年１０回）行い、年１～２回の合宿研究会も開催する。各コースで学生主導の研究プログラムの作成と成果討議の機会を通して、自立した研究者としての教育が行われる。

コースの全体会議としてオーガナイザー会議を設置する。

コース事務局はコース登録・管理、実習ローテーションの受付・管理、各コース研究会や会議の日程調整、学生へのオリエンテーションと広報、全コース共通カリキュラム及びオーガナイザー会議の企画・運営などの業務を行う。

４．単位について

大学院教育コースごとに、演習（４単位）・実習（２単位）が付与される。

博士（後期）課程においては、2022 年度入学者より、演習４単位、実習２単位をそれぞれ異なる年度に履修することとなる。また、それらの課程においては中間ヒアリングに合格することが「実習」2 単位の修得要件となる。

履修評価は主にミーティング及び合宿の出席・発表等で判断される。また、各コース共通の講義・実習等が開講され、それらへの参加の有無も加味される。共通の講義・実習等については決定次第大学院教育コースホームページ（https://www.med.kyoto-u.ac.jp/grad_school/mmg/course/edcourse/）にて通知する。

最終的には、学位審査も学生の所属コースのコース全体会議において実質的な審議を行う方向で検討を進める。

２０２５年度　大学院教育コース　授業科目一覧表

科目コード	科目名	責任教員（オーガナイザー）	単位	備考
T001000	医科学研究入門Ⅰ	生田特任教授	－	
T002000	医科学研究入門Ⅱ	生田特任教授	－	
P029000	発生・細胞生物学・システム生物学（演習）	渡邊（直）教授（神経・細胞薬理学）	4	
P030000	発生・細胞生物学・システム生物学（実習）	渡邊（直）教授（神経・細胞薬理学）	2	
P005000	免疫・アレルギー・感染（演習）	竹内教授（医化学）	4	
P006000	免疫・アレルギー・感染（実習）	竹内教授（医化学）	2	
P007000	腫瘍学（演習）	小川教授（腫瘍生物学）	4	
P008000	腫瘍学（実習）	小川教授（腫瘍生物学）	2	
P011000	神経科学（演習）	渡邉（大）教授（生体情報科学）	4	
P012000	神経科学（実習）	渡邉（大）教授（生体情報科学）	2	
P013000	生活習慣病・老化・代謝医学（演習）	矢部教授（糖尿病・内分泌・栄養内科学）	4	
P014000	生活習慣病・老化・代謝医学（実習）	矢部教授（糖尿病・内分泌・栄養内科学）	2	
P015000	再生医療・臓器再建医学（演習）	長船教授（応用再生医学研究）	4	
P016000	再生医療・臓器再建医学（実習）	長船教授（応用再生医学研究）	2	
P017000	病理形態・病態医学（演習）	西谷教授（法医学）	4	
P018000	病理形態・病態医学（実習）	西谷教授（法医学）	2	
P033000	社会健康医学・臨床疫学研究（演習）	石見教授（予防医療学）	4	
P034000	社会健康医学・臨床疫学研究（実習）	石見教授（予防医療学）	2	
P027000	医工情報学連携（演習）	中本教授（画像診断学・核医学）	4	
P028000	医工情報学連携（実習）	中本教授（画像診断学・核医学）	2	
P035000	医療 DX（演習）	黒田教授（医療情報学）	4	
P036000	医療 DX（実習）	黒田教授（医療情報学）	2	

５.「大学院教育コース」の概要及び開講科目

◎発生・細胞生物学・システム生物学コース

発生・細胞生物学および数理生物学、情報科学の幅広い分野について、専門分野を超えた横断的な討論と技術修得の機会を提供する。これらの分野で活躍する内外のエキスパートとの交流を通じて、広い視野と知識、疾患への理解、共同研究を遂行する能力、語学力や情報発信能力、社会的責任感や倫理的な視野等を涵養し、様々な生理現象のメカニズム解明、病因の解明、優れた診断・予防・治療法の開発などに貢献できる、有能な医学・生物学者、あるいはまた、医学・生物学領域の幅広い問題に対応できる数理・情報科学研究者の育成を目指す。

◎免疫・アレルギー・感染コース

系統的演習と実習により、学生に基礎免疫学の概念と基本的技術を十全に習得させるとともに、感染症、アレルギー、自己免疫疾患、移植や腫瘍免疫などの多様な領域における臨床・応用免疫学の最新の知識と研究の動向を理解させ、これらの総合的理解に基づき基礎および臨床免疫関連分野における独自の研究を展開しうる広い視点と技術をもった学生の養成をはかる。

◎腫瘍学コース

系統的演習と実習により、基礎腫瘍学の概念と基本的技術を十全に習得させるとともに、多様な臓器における臨床・腫瘍学の最新の知識と研究の動向を理解させ、これらの総合的理解に基づき基礎および臨床腫瘍学関連分野における独自の研究を展開しうる広い視点と技術をもった人材の養成をはかる。

◎ゲノム・オミックス統計解析コース（２０２５年度は休講）

ゲノム医学分野は、遺伝学・人類遺伝学の理論的側面の深い理解が研究計画の立案に必須であり、その上遺伝子タイピングを実践するための技術の習得及び、生産されたデータを解釈するため統計遺伝学を理解し使いこなす必要がある。これらを目的として演習、実習を効果的に組み合わせ、ヒト多因子型遺伝病の遺伝解析を自ら計画し遂行できるようになるまで一貫した指導を行う。また、ゲノム情報科学の基礎、法医学、ゲノム創薬分野の特論を実施し、ポストゲノムの応用面も理解してもらう。

◎神経科学コース

系統的な演習と実習により学生に神経科学の基礎知識と実験技術を習得させ、独立して実験を行い、神経科学分野の論文をまとめる能力を養う。

◎生活習慣病・老化・代謝医学コース

系統的演習と実習により、学生に糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝を中心に基本的な代謝回路とその恒常性を維持するための制御システムの理解を促し、併せて代謝異常と生活習慣病、内分泌疾患、老化疾患との関連を学ばせる。また、代謝回路の解析、代謝疾患モデル動物の解析、代謝制御に関わるシグナル伝達システムの解析に関する基本的技術を十全に習得させる。更に、動脈硬化、糖尿病、骨そしょう症、その他の内分泌・代謝疾患、認知障害など生活習慣、加齢が関わる多様な領域における臨床・診断治療法の開発に関する最新の知識と研究の動向を理解させる。これらの総合的理解に基づき関連分野における独自の研究を展開しうる広い視点と技術をもった学生の養成をはかる。

◎再生医療・臓器再建医学コース

系統的演習と実習により、学生に再生医学・再生医療、臓器移植・細胞移植の概念と基本的技術を充分に習得させるとともに、体性幹細胞、ES 細胞、iPS 細胞、移植免疫などについての最新の知識と研究の動向を理解させ、これらの総合的理解に基づき基礎的素養を充分身につけ、かつ再生医療、臓器移植、細胞移植における独自の研究を展開しうる広い視点と技術をもった学生の養成をはかる。

◎病理形態・病態医学コース

系統的演習と実習により、学生に人体および各種動物の正常形態学、病理形態学の概念、形態学的研究に関する各種の基本的技術および動物実験法の基礎的知識と基本的技術を習得させる。これらの総合的理解に基づき、独自の研究を展開し得る広い視点と技術を持ち、多様な疾患の病的状態を形態学的に調べ、その成因や病理発生のメカニズムを明らかにしていくことの出来る学生を養成する。

◎社会健康医学・臨床疫学コース

社会健康医学の概念と方法論を用い、実例中心に演習を行う。コース・ミーティングでは社会健康医学の多様な領域における最新の知識と研究の動向を学び、合宿では主に学生の研究課題を題材にして鍛錬を行う。

◎医工情報学連携コース

医学と工学の融合研究は、今後の医学・医療に大きなブレイクスルーをもたらすものと期待される。本コースでは、医学システム生物学、バイオマテリアル学、イメージング・ターゲッティング学の３つの研究領域に焦点を合わせ、関係する医学研究科教員（更には医学研究科人間健康科学系専攻、工学研究科、情報学研究科教員）が密に連携して、これらの融合研究を開拓、展開しうる広い視点と技術をもった学生の養成をはかる。具体的には、講義に連携した系統的演習と実習により、学生に基本的な知識と基本的技術を修得させるとともに、それらを基盤に個別研究に発展させるべく指導を行う。

◎医療 DX コース

情報通信技術の医療適用や、SaMD（Software as a Medical Device）開発などの医療 DX を導くための知識と技術習得の機会を提供する。SBL/PBL/FBL を通じて、医療情報を取り巻く法制や導入の基礎技能を議論するとともに、京大病院電子カルテ二次利用系クラウドシステムを用いて情報分析・AI 開発デプロイ手法等を体験する機会を提供する。本大学院コースは、医療 DX 教育研究センターが法学研究科法政策共同研究センター、国際高等教育院附属データ科学イノベーション教育研究センターと共同で提供する。

◆京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻について

1．京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻の概要

京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻では、ゲノム解析において世界トップクラスの京都大学とマギル大学が緊密な連携のもとジョイント・ディグリープログラムを実施することで、互いの大学の特徴を活かした、相互補完的かつ単一大学では成し得ない質の高い教育研究を推進し、生命ビッグデータを活用した様々な解析技術を習熟し、今後の予防医学の発展に貢献できる人材の育成を行う。

2．京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻の教育課程

京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻博士課程の修了の要件は、4 年以上在学し、下記の要件を満たしていることとする。

①京都大学開講の必修科目 4 科目 12 単位とマギル大学開講の必修科目 2 科目 6 単位を修得すること。

②京都大学開講の選択科目のうち 2 科目 4 単位以上とマギル大学開講の選択科目のうち 2 科目 6 単位以上を修得すること。

③共同開設科目 2 単位を修得すること。

④各科目の成績評価の総平均が B 以上であること。

⑤必要な研究指導を受けたうえ、学位調査委員会による学位論文の公開審査試験に合格すること。

履修方法は以下のとおりとする。

・原則として履修期間内の 1 年間は連携相手方大学に滞在し、授業科目の履修と研究を行う。

・授業科目の履修は 2 年次までに終えることを原則とするが、3 年次以降での履修も可能とする。

・学生は両大学から配置する各 1 名の指導教員とともに 1 年次の早い時期に学位論文執筆のための研究テーマの具体的内容について検討し、研究計画を立てて研究を開始する。

・両指導教員の指導の下で 3 年次後期から学位論文の作成を開始する。

［授業科目及び修得すべき単位数］　　＊詳細な時間割は医学研究科ホームページに掲載します。

	科目コード	科目名	開講期 前期	開講期 後期	単位	講義内容
		京都大学･マギル大学共同開設科目				
必修	S001000	次世代シークエンス技術を用いたゲノム解析とその応用		後期集中	2	講義・演習
		京都大学開設科目				
必修	S002000	ゲノム医学Ⅰ	○		4	講義・演習
	S003000	ゲノム医学Ⅱ		○	4	講義・演習
	S004000	統計遺伝学Ⅰ		集中	2	講義・演習
	S005000	統計遺伝学Ⅱ	集中		2	講義・演習
選択	S011000	統計的学習Ⅰ	集中		2	講義・演習（2025 年度は開講未定）
	S012000	統計的学習Ⅱ		集中	2	講義・演習（2025 年度は開講未定）
	S013000	ゲノム・オミックス解析手法Ⅰ	集中		2	演習（2025 年度は開講未定）
	S014000	ゲノム・オミックス解析手法Ⅱ		集中	2	演習（2025 年度は開講未定）
		マギル大学開設科目				
必修		Human Genetics		(秋学期)	3	講義
		PhD Senior Seminar	3rd year or more		3	演習
選択		Genetics and Bioethics		(秋学期)	3	講義
		Population Genetics		(冬学期)	3	講義
		Beyond the Human Genome		(冬学期)	3	講義
		Advances in Human Genetics 1		(秋学期)	3	講義
		Research Internship		(冬学期)	3	講義

選択		Stem Cell Biology		(秋学期)	3	講義
		Lab Course in Genomics		(冬学期)	3	講義・演習
		Statistics Concentrated in Genetic & Genomic Analysis		(秋学期)	3	講義
		Inherited Cancer Syndromes		(冬学期)	3	講義
		Host Responses to Pathogens		(秋学期)	3	講義
		Using Bioinformatics Resources		(秋学期)	3	講義
		Psychiatric Genetics		(秋学期)	3	演習
		Techniques in Molecular Genetics		(冬学期)	3	講義・演習
		Topics on the Human Genome		(冬学期)	3	講義
		Human Biochemical Genetics		(冬学期)	3	講義

注）原則として、京都大学で 1 年間（年度）に履修科目として登録することができる単位数は 42 単位を超えることはできない。

３．京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻博士課程のコースツリー

博士課程ディプロマ・ポリシー（一部抜粋）：
１．ゲノム医学分野において、高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を修得している。
２．学術的意義、新規性、創造性等を有する研究を、倫理性を備えて企画・推進・実施することができる。
３．高度な普遍性を持つ研究成果を、国際学術言語である英語により論理的に説明できる。

Ｄ４　博士学位論文作成。

Ｄ３　両指導教授の下で３年次後期から学位論文の作成を開始する。

【必修科目（Ｄ３以上）】
マギル大学開設科目：PhD Senior Seminar

Ｄ２　履修期間内の１年間は連携相手方大学に在籍し、授業科目の履修と研究を行う。

【必修科目】
京都大学・マギル大学共同開設科目：
次世代シークエンス技術を用いたゲノム解析とその応用

京都大学開設科目：
ゲノム医学Ⅰ・II、統計遺伝学Ⅰ・II

マギル大学開設科目：Human Genetics

【選択科目】
１年次、２年次に京都大学開設科目およびマギル大学開設科目から選択科目を履修する。

Ｄ１　両大学の指導教授とともに１年次の早い時期に学位論文執筆のための研究テーマの具体的内容について検討し、研究計画を立てて研究を開始する。

◇　京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻各研究分野の研究内容及び指導内容

京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻の各研究分野の研究内容及び指導内容については、医学専攻を参照すること。

◆医科学専攻について

１．医科学専攻の概要

近年のライフサイエンスの発展により、医学・医療を取り巻く環境は大きく変革し、医学分野における教育・研究の内容も複雑・高度化している。特に、医師養成と基礎医学の研究を主目的とする伝統的な医学教育・研究に加えて、生命科学の飛躍的発展に伴い得られた膨大な情報を的確に処理し、いかにして有効かつ適切に実際の医療の現場に活かしていくかが課題となっている。

また、医療現場では、患者の意識向上と相俟って、高度な機器を利用しての的確な診断が求められ、その診断技術や医療機器の研究開発が日々続けられているなか、高齢化社会の到来を控え、その進展に寄せられる期待は益々大きなものとなっている。こうした伝統的な医学の枠組みを越えた融合領域の創生とそれを担いうる研究者・教育者の養成は、研究教育の中核を担う大学に課せられた大きな使命である。

本専攻では、医学に対する社会的要請に応え、その使命を果たすべく、理学・工学分野等にバックグラウンドを持つ学生に対し、従来と異なる視点に立って医学に関する知識を教育することによって、既存の枠を越え、高度な専門的知識・技術と医学を結んだ新たな医科学の研究者・教育者を養成しようとするものである。

２．修士課程の教育課程

指導教員の研究分野に所属し、演習を通して個人指導を受けることで修士論文を作成する。

修了要件は、2 年以上在学し、研究指導を受け、30 単位以上を修得し、「医科学研究入門 I,II（2025 年度以降入学者対象)」を履修のうえ合格し、修士論文の審査及び試験に合格することである。

［授業科目及び修得すべき単位数］　＊詳細な時間割は医学研究科ホームページに掲載します。

	科目コード	科目名	開講期 前期	開講期 後期	単位	講義内容
必修	E001000	医学英語		○	2	
		医科学演習 I	1 年次		5	配属先における研究演習
		医科学演習 II	2 年次		5	配属先における研究演習
	T001000	医科学研究入門 I	○		－	大学院教育コース必修科目（2025 年度以降入学者対象。入門 II は 2026 年度開講予定）
	T002000	医科学研究入門 II		○	－	
選択必修		大学院教育コース（修士演習）	通年		4	参加する大学院教育コースを１つ選ぶ。留学生は追加で２コース履修し、選択科目の単位に替えることができる。
		大学院教育コース（修士実習）	通年		2	
選択	E060000	エッセンシャル解剖学	○		2	人間健康科学科 2 回生配当科目　解剖学
	E061000	エッセンシャル生理学 I	○		2	人間健康科学科 2 回生配当科目　生理学 I
	E062000	エッセンシャル生理学 II	○		2	人間健康科学科 2 回生配当科目　生理学 II
	E064000	エッセンシャル病理学	○		2	人間健康科学科 2 回生配当科目　病理学
	E003000	組織学		(秋学期)	2	医学科 2 回生　B4a 組織学
	E004000	発生学		(秋学期)	2	医学科 2 回生　B3 発生学
	E006000	生理学 I		(秋学期)	2	医学科 2 回生　B5a 生理学
	E007000	生理学 II		(秋学期)	4	
	E027000	神経科学		(秋学期)	6	医学科 2 回生　B6a 神経科学
	E036000	神経解剖学実習		(秋学期)	1	医学科 2 回生　B6b 神経解剖学実習
	E010000	微生物学 I		(冬学期)	2	医学科 2 回生　B7a 微生物学
	E011000	微生物学 II		(冬学期)	4	
	E009000	免疫学	(春学期)		4	医学科 3 回生　B8 免疫学
	E012000	病理学 II	(春学期)		4	医学科 3 回生　B9 病理学総論
	E015000	薬理学 I	(春学期)		2	医学科 3 回生　B11a 薬理学
	E016000	薬理学 II	(春学期)		4	
	E013000	法医学 I	(春学期)		2	医学科 3 回生　B12a 法医学
	E014000	法医学 II	(春学期)		4	
	E031000	遺伝医学	(春学期)		2	医学科 4 回生　C13 遺伝医学・医の倫理
	E021000	社会医学	(春学期)		2	医学科 4 回生　B13 社会・環境・予防医学
	M046000	医療工学特別講義		集中	2	LIMS(人間健康・薬学・工学と合同)注 5)

	E037000	創薬医学概論	通年(不定期)		2	創薬医学講座
	E035000	ゲノムインフォマティクス		○	2	創薬医学講座
	E065000	医学研究技術実習	通年		2	医学研究関係機器の知識・技能の習得に関する実習
選択	E033000	病院実習			2	病院診療臨床研究の見学(2025 年度開講未定)
	H174000	医療データ科学	○		2	社会健康医学系専攻
	H175000	医療データ科学実習	○		2	社会健康医学系専攻
	M050M01	医療情報法制学		○	2	注 5)
	M051000	医療情報学実習		○	2	注 5)
	Z203000	グローバルヘルス通論		○	2	英語により開講される科目
	E068000	橋渡し研究・臨床研究マネジメント	集中		2	医学部附属病院先端医療研究開発機構
	E071000	クリニカルインフォマティクス（基礎検査医学）		○	2	創薬医学講座
	E072000	RNA インフォマティクス演習		○	2	創薬医学講座
		英語により開講される科目	○	○		詳細は以下の一覧を参照。

注

1）必修科目 12 単位、選択必修科目 6 単位、選択科目 12 単位以上、合計 30 単位以上を修得し、「医科学研究入門 I,II（2025 年度以降入学者対象)」を履修のうえ合格すること。

2）選択科目として、社会健康医学系専攻専門職学位課程知的財産経営学プログラムの知的財産領域必修科目を履修することもできる。

卓越大学院プログラム履修者で「(医学領域）フロンティア型人材育成特別講義」「医療ヘルスケア・イノベーション起業家育成プログラム」の単位を修得した場合は、選択科目として認められる。

3）原則として 1 年間（年度）に履修科目として登録することができる単位数は 42 単位を超えることはできない。
ただし、次の場合は超過を認める。

(1) リーディングプログラムの履修者がリーディングプログラム科目を履修する場合

(2) 政策のための科学プログラムの履修者が政策のための科学プログラム科目を履修する場合

4）学部全学共通科目では、履修者数の制限を行う科目があるので注意すること。また、同名の科目の重複履修は認めない。

5）医療工学特別講義、医療情報法制学、医療情報学実習の３科目は人間健康科学系専攻で開講されるので、他研究科聴講手続で履修すること。単位を修得した場合は選択科目として認められる。

6）同一科目を複数合格した場合でも、修了に必要な単位として認められるのは、修得年度の早いもの１つのみとする。ただし、留学生が修得する大学院教育コースは除く。

［英語により開講される科目］

以下の科目は選択科目です。KULASIS の全学共通科目で時間割を確認し、履修登録してください。

	科目コード	科目名	開講期		単位	講義内容・曜時限
選択	N492001	Principles of Genetics-E2	○		2	火 4
	U165001	Physiology in Health and Sports-E2	○		2	火 5
	N943001	Microorganisms in our Lives-E2	○		2	木 3
		Biology and Sociology of Chronic Diseases-E2	○		2	2025 年度不開講
	N491001	Introduction to Molecular Biotechnology-E2	○		2	金 2
	N804001	Introductory Statistics-E2	○		2	金 3
	H155001	Logic I-E2: Deductive Reasoning & Analysis	○		2	金 4
	N913001	Introduction to Behavioral Neuroscience A-E2	○		2	金 5
	N490003/N490004	Introduction to Biochemistry-E2		○	2	火 3
	U106001	Introduction to Lifestyle Related Diseases-E2		○	2	火 5
	H156001	Logic II-E2: Inductive & Scientific Reasoning		○	2	水 4
	N942001	Introduction to Immunology-E2:The		○	2	木 3

		body's defense system				
		Nutrition and Health-E2		○	2	2025 年度不開講
	T050001	Processing and Analyzing Data I-E2: Shell-based data processing fundamentals		○	2	金 3
	U135001	Introduction to Medical Psychology-E2		○	2	金 4
	N914001	Introduction to Behavioral Neuroscience B-E2		○	2	金 5

［2025 年度　大学院教育コース（修士）　授業科目一覧表］

大学院教育コース（修士）ごとに、演習（４単位）、実習（２単位）が付与される。

修了要件として、演習・実習の計６単位とは別に、全コース共通講義「医科学研究入門 I」「医科学研究入門 II（2026 年度開講予定）」を履修のうえ合格する必要がある。

履修評価は主にミーティング及び合宿の出席・発表等で判断される。また、各コース共通の講義・実習等が開講され、それらへの参加の有無も加味される。共通の講義・実習等については決定次第大学院教育コースホームページ（https://www.med.kyoto-u.ac.jp/grad_school/mmg/course/edcourse/）にて通知する。

科目コード	科目名	責任教員（オーガナイザー）	単位	授業で主に使用する言語
T001000	医科学研究入門 I	生田特任教授	－	日本語/英語
T002000	医科学研究入門 II（2026 年度開講予定）	生田特任教授	－	日本語/英語
E054000	発生・細胞生物学・システム生物学（修士演習）	渡邊（直）教授（神経・細胞薬理学）	4	英語
E055000	発生・細胞生物学・システム生物学（修士実習）	渡邊（直）教授（神経・細胞薬理学）	2	英語
E038000	免疫・アレルギー・感染（修士演習）	竹内教授（医化学分野）	4	英語
E039000	免疫・アレルギー・感染（修士実習）	竹内教授（医化学分野）	2	英語
E040000	腫瘍学（修士演習）	小川教授（腫瘍生物学）	4	英語
E041000	腫瘍学（修士実習）	小川教授（腫瘍生物学）	2	英語
E042000	神経科学（修士演習）	渡邉（大）教授（生体情報科学）	4	英語
E043000	神経科学（修士実習）	渡邉（大）教授（生体情報科学）	2	英語
E044000	生活習慣病・老化・代謝医学（修士演習）	矢部教授（糖尿病・内分泌・栄養内科学）	4	英語
E045000	生活習慣病・老化・代謝医学（修士実習）	矢部教授（糖尿病・内分泌・栄養内科学）	2	英語
E046000	再生医療・臓器再建医学（修士演習）	長船教授（応用再生医学研究）	4	英語
E047000	再生医療・臓器再建医学（修士実習）	長船教授（応用再生医学研究）	2	英語
E073000	病理形態・病態医学（修士演習）	西谷教授（法医学）	4	日本語
E074000	病理形態・病態医学（修士実習）	西谷教授（法医学）	2	日本語
E052000	医工情報学連携（修士演習）	中本教授（画像診断学・核医学）	4	日本語
E053000	医工情報学連携（修士実習）	中本教授（画像診断学・核医学）	2	日本語
E069000	医療 DX（修士演習）	黒田教授（医療情報学）	4	日本語
E070000	医療 DX（修士実習）	黒田教授（医療情報学）	2	日本語
M052002	リハビリテーション科学（修士演習）※	青山教授（運動機能解析学）	4	日本語
M053002	リハビリテーション科学（修士実習）※	青山教授（運動機能解析学）	2	日本語
M052003	メディカル AI（修士演習）※	奥野教授（ビッグデータ医科学）	4	日本語
M053003	メディカル AI（修士実習）※	奥野教授（ビッグデータ医科学）	2	日本語
M052001	ケアリング科学（修士演習）※	宮下教授（緩和ケア看護学）	4	日本語
M053001	ケアリング科学（修士実習）※	宮下教授（緩和ケア看護学）	2	日本語

※人間健康科学系専攻が開講しているコース

４．修士課程のコースツリー

修士課程：ディプロマポリシー

１．医科学分野の幅広い専門的知識を習得し、この知識を用いて高度な専門性を有する研究を計画することができる。
２．学術的意義、新規性、創造性等を有する研究を、高い倫理的責任感を備えて推進・実施することができる。
３．研究成果を広い視野を持ち論理的に説明できる。

Ｍ２

【（必修）研究指導科目】

医科学演習 II

所属する研究分野において、研究演習、実験実習を通じて修士論文の作成に向けた研究を行う。また、修士論文審査会で論文のプレゼンを行う。

Ｍ１

【（必修）研究指導科目】

医科学演習 I

所属する研究分野において、研究演習、実験実習を通じて修士論文の作成に向けた研究を行う。

【（必修）基礎科目】

医学英語

研究者に必要な英語コミュニケーション能力向上を目的とし、議論およびプレゼンテーションを重視する。

【（必修）基礎科目】

大学院教育コース科目（修士）

個々の分野では得られない技術・助言を受ける科目。（医科学研究入門 I を含む）

【（選択）専門科目群】修士課程全体を通じて、以下のような授業科目を履修し、各自のバックグラウンドや研究領域に合わせて、医学に関する体系的な知識を習得する。さらに、創薬や医療工学等の社会実装型の研究手法や考え方を学ぶ。

- 「エッセンシャル解剖学」、「エッセンシャル生理学」「エッセンシャル病理学」「組織学」「発生学」等の基礎医学の科目
- 「医学研究技術実習」：最先端研究機器による研究技術実習
- 「病院実習」：病院における診療・臨床研究の見学
- 「創薬医学概論」、「生体システム・情報診断学」、「ゲノムインフォマティクス」等の創薬医学関係の科目
- 「医療工学特別講義」：医療機器開発等の産学横断する医工学研究に関する科目。
- 「医療データ科学」、「医療データ科学実習」あるいは知的財産に関する科目
- 医学・生物学に関する学部全学共通科目
- 英語により開講される少人数教育科目

５．博士後期課程

本専攻の修士課程において医学分野の基礎的な知識と医科学研究の基礎トレーニングを経て修得した者はその知識をベースにさらに教育を行い、融合領域の研究を推進する優れた医科学研究者を育成する。

生物学関連分野はもとより数学・物理学・化学・情報学分野など、修士課程までは医学教育に接したことのない者には、その異分野において蓄積した知識をベースに医学の複雑で多彩な病態現象に触れることにより、同じく融合領域の研究を推進する優れた医科学研究者を育成する。

修了要件は、3 年以上在学し、所要科目 13 単位（主科目 7 単位、大学院教育コース科目 6 単位）以上を修得し、「医科学研究入門 I,II」を履修のうえ合格し、研究指導を受け、かつ、博士論文の審査及び試験に合格することである。

2022 年度入学者より、大学院教育コースにおいて中間ヒアリングとチューターシステムを導入することにより、大学院生の研究進捗状況をチェックし、必要に応じてアドバイスを与えることによって研究レベルの向上をサポートする体制を強化する。医科学専攻博士後期課程では D2 で研究進捗状況をチェックし、適切な研究方針で研究しているか、順調に研究が進展しているかなどを確認・審査する。

［授業科目及び修得すべき単位数］

	科目コード	科目名	単位数	担当教員
主科目（必修）		医科学講義	2	所属分野の教員
		医科学演習	2	所属分野の教員
		医科学実習	3	所属分野の教員
大学院教育コース科目（選択必修）	T001000	医科学研究入門 I	－	生田特任教授
	T002000	医科学研究入門 II（2026 年度開講予定）	－	生田特任教授
	P029000	発生・細胞生物学・システム生物学（演習）	4	渡邊（直）教授（神経・細胞薬理学）
	P030000	発生・細胞生物学・システム生物学（実習）	2	渡邊（直）教授（神経・細胞薬理学）
	P005000	免疫・アレルギー・感染（演習）	4	竹内教授（医化学）
	P006000	免疫・アレルギー・感染（実習）	2	竹内教授（医化学）
	P007000	腫瘍学（演習）	4	小川教授（腫瘍生物学）
	P008000	腫瘍学（実習）	2	小川教授（腫瘍生物学）
	P011000	神経科学（演習）	4	渡邉（大）教授（生体情報科学）
	P012000	神経科学（実習）	2	渡邉（大）教授（生体情報科学）
	P013000	生活習慣病・老化・代謝医学（演習）	4	矢部教授（糖尿病・内分泌・栄養内科学）
	P014000	生活習慣病・老化・代謝医学（実習）	2	矢部教授（糖尿病・内分泌・栄養内科学）
	P015000	再生医療・臓器再建医学（演習）	4	長船教授（応用再生医学研究）
	P016000	再生医療・臓器再建医学（実習）	2	長船教授（応用再生医学研究）
	P017000	病理形態・病態医学（演習）	4	西谷教授（法医学）
	P018000	病理形態・病態医学（実習）	2	西谷教授（法医学）
	P033000	社会健康医学・臨床疫学研究（演習）	4	石見教授（予防医療学）
	P034000	社会健康医学・臨床疫学研究（実習）	2	石見教授（予防医療学）
	P027000	医工情報学連携（演習）	4	中本教授（画像診断学・核医学）
	P028000	医工情報学連携（実習）	2	中本教授（画像診断学・核医学）
	P035000	医療 DX（演習）	4	黒田教授（医療情報学）
	P036000	医療 DX（実習）	2	黒田教授（医療情報学）

※　履修方法は、主科目（必修：所属研究分野の講義・演習・実習）7 単位、2022 年度入学者より、大学院教育コース科目を「演習」、「実習」をあわせて 6 単位以上を履修することとする。「実習」を履修するには同じコースの「演習」を取得することが条件となり、「実習」は中間ヒアリングに合格することで単位取得ができる。また、修了要件として、演習・実習の計 6 単位とは別に、全コース共通講義「医科学研究入門 I」「医科学研究入門 II（2026 年度開講予定）」を履修のうえ合格する必要がある。

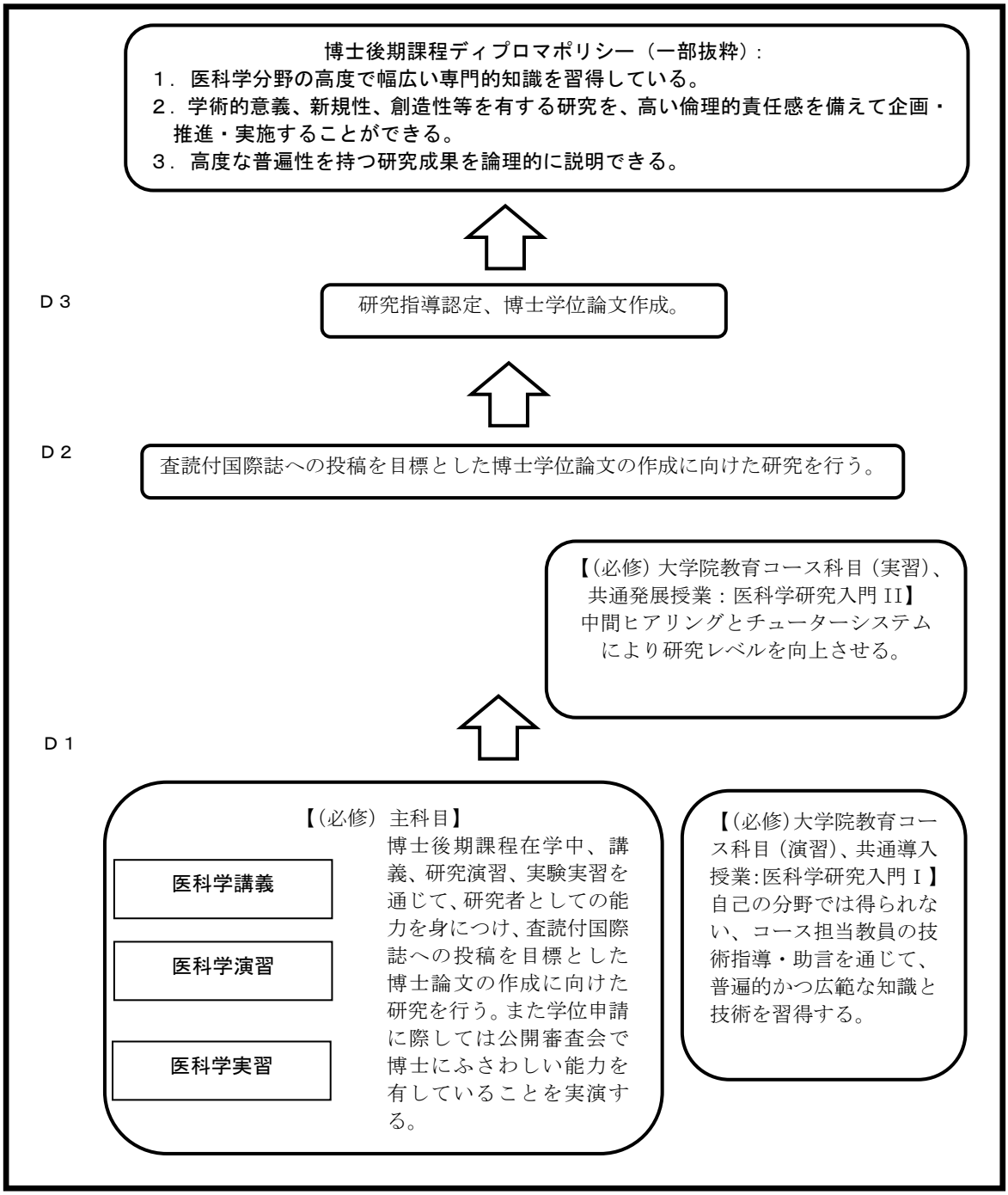
（「大学院教育コース」の概要は 53 頁に記載しています。）

講義・演習・実習を通じて研究者としての基礎的能力を育成するとともに、学術論文作成のトレーニングを行う。課程修了までに、少なくとも筆頭著者としての論文 1 編を完成させ、外国雑誌に投稿させることを目標に研究指導を行う。

※ 原則として 1 年間（年度）に履修科目として登録することができる単位数は 42 単位を超えることはできない。ただし、次の場合は超過を認める。

(1) リーディングプログラムの履修者がリーディングプログラム科目を履修する場合
(2) 政策のための科学プログラムの履修者が政策のための科学プログラム科目を履修する場合
(3) 社会健康医学系専攻特別コース・特別プログラム（MCR コース、遺伝カウンセラーコース、1 年制 MPH コース、知的財産経営学プログラム、臨床統計家育成コース）の履修者が、特別コース・特別プログラムにおける必修科目等を履修する場合

６．博士後期課程のコースツリー



◆社会健康医学系専攻について

（http://sph.med.kyoto-u.ac.jp/）

１．本専攻の概要

社会健康医学系専攻の使命は、医学・医療と社会・環境とのインターフェースを機軸とし以下の活動とその相互作用を通じて、人々の健康と福祉を向上させることである。

○教育（Teaching）
社会健康医学に関わる実務、政策、研究、教育において専門的かつ指導的役割を身につける幅広い教育を行う。
○研究（Research）
人々の健康に関わる経済、環境、行動、社会的要因についての知識を深め、新しい知識と技術を生み出す。
○成果の還元（Translating Research into Practice and Policy）
その成果を健康・医療に関わる現実社会の実践方策と政策に還元する。
○専門的貢献（Professional Practice）
専門の知識と技術を持って、個人・組織・地域・国・世界レベルで貢献する。

健康に関する問題は非常に広い範囲にわたっており、本専攻の教員、学生のテーマや専門性も多岐に渡っている。本専攻には、定量的評価に不可欠な疫学、統計に関する基礎領域から、ゲノム情報と健康のかかわり、医療の質の評価や経済的評価、倫理的側面、社会への健康情報の発信、健康増進と行動変容、健康の社会的決定要因、健康格差、グローバルヘルス、感染症など危機管理に関する研究や気候変動など環境要因と健康に関する研究、ヘルスコミュニケーションや質的研究など、さまざまな教育・研究を推進する分野が設置されている。

２．教育課程

本専攻は、専門職学位課程（実務者レベル）2 年と博士後期課程（研究者、教育者レベル）3 年に区分され、専門職学位課程は、さらに、基幹課程である 2 年制 MPH コースをはじめ、1 年制 MPH コース、臨床研究者養成（MCR）コース（1 年制）、遺伝カウンセラーコース（2 年制）、臨床統計家育成コース（2 年制）を含めて 5 コースに分かれている。
教育内容として、下記のコア６領域が定められており、これらの領域を構成する科目を、必修（コア領域１、２）、選択必修（コア領域３、４、５、６）と指定している。いずれのコースでも 2025 年度入学者より６領域から最低 1 科目（コア領域１は 2 科目）の履修を必要とする。

区分		科目コード	科目名	責任者	単位	備考
MPH コア６領域	コア領域１	H118000	疫学Ⅰ（疫学入門）	中山	1	必修
		H119000	疫学Ⅱ（研究デザイン）	山本	1	必修
	コア領域２	H174000	医療データ科学	松井	2	必修
	コア領域３	H070000	感染症疫学	西浦	1	
		H124000	産業・環境衛生学	西浦	1	
	コア領域４	H166000	医療制度・政策・経済	今中	2	
		H126000	保健・医療の経済評価	今中	1	MCR コース受講不可
		H127000	社会健康医学と健康政策	健康政策の運営委員会	2	
		H109000	医薬政策・行政	川上	1	後期
	コア領域５	H075000	行動科学	田近	1	
		H076000	基礎医療倫理学	井上	1	
		H077000	医学コミュニケーション基礎	岩隈	1	
		H157000	社会疫学	近藤	2	
	コア領域６	H161000	感染症数理モデル入門	西浦	2	集中講義
		H170M01	健康危機管理の制度政策と実践	今中	1	
		H169000	公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	中山	1	集中講義
		H173M01	レジリエントな社会づくりのイノベーション： 展望・自由提言	今中	2	

		H172000	健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	今中	1	集中講義

※前年度以前開講科目の科目変更については、「（別表）科目変更対応表」を確認すること。

◎人間健康科学系専攻科目の一部の科目、「政策のための科学」プログラムの授業科目を社会健康医学系専攻の学生が受講することを認めています。ただし、修了に必要な単位とはなりません。
詳細は、KULASIS でシラバスをご参照ください。

◎以下の公共政策大学院科目を社会健康医学系専攻の学生が受講することを認めています。ただし、修了に必要な単位とはなりません。
詳細は、KULASIS でシラバスをご参照ください。

・公共政策論 A・B
・行政システム
・財政システム
・CS 予算と政策分析

（１）専門職学位課程

専門職学位課程に 2 年以上（2 年制コース）もしくは 1 年以上（1 年制コース）在学し、下記の 30 単位以上を修得し、本専攻が定める教育課程を修了することが「社会健康医学修士（専門職）」取得の要件である。

なお、1 年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、原則 42 単位とする。ただし、特別コース・特別プログラム（1 年制 MPH コース、臨床研究者養成（MCR）コース、遺伝カウンセラーコース、臨床統計家育成コース、知的財産経営学プログラム）の履修者が、特別コース・特別プログラムにおける必修科目等を履修する場合は超過を認める。その他、やむを得ない事情により履修登録上限単位数を緩和する必要がある場合には、指導教員の申し出により超過を認めることがある。

[2 年制ＭＰＨコース]

【2024 年度以前入学者】

科目	「医療系」出身者※	「医療系」以外出身者
MPH コア５領域（コア領域１－５のすべての領域を含む）（注 1）	１０	１０
MPH 必修（医学基礎Ⅰ（注 3）・Ⅱ、臨床医学概論）（注 2）	―	6
課題研究	4	4
選択（特別プログラムで指定されるものを含む）	１６	１０
計	３０	３０

【2025 年度以降入学者】

科目	「医療系」出身者※	「医療系」以外出身者
MPH コア６領域（コア領域１－６のすべての領域を含む）（注 1）	１０	１０
MPH 必修（医学基礎Ⅰ（注 3）・Ⅱ、臨床医学概論）（注 2）	―	6
課題研究	4	4
選択（特別プログラムで指定されるものを含む）	１６	１０
計	３０	３０

※「医療系」出身者：医学部・看護学部・歯学部・薬学部・公衆衛生学部などの医療系学部の出身者
上記以外でかつ生物系等学部、医療系短期大学及び医療系専門学校の出身者であっても医療系の国家資格を取得できるコースの出身者は、一括認定の対象とする。
「上記の一括認定で認定されなかった者」で、「医療系」出身者としての認定を求める際は、入学時に申請が必要である。

（注 1）MPH コア科目を 10 単位を超えて取得した場合は、選択科目として算入する。

（注２）MPH 必修を、「医療系」出身者の学生が取得した場合、学位取得に必要な 30 単位に算入することはできない。
（注３）「医学基礎Ｉ」として、「医学基礎Ｉ（生理学Ｉ）」「医学基礎Ｉ（神経生理学）」「医学基礎Ｉ（解剖学）」あるいは「医学基礎Ｉ（基礎人類遺伝学）」のいずれか履修すること。

課題研究：専門職学位課程共通。テーマ毎に、最も適切な研究室に配属し、研究アイデアから研究プロトコールの作成、データ収集と解析、結果の考察などを経験し、プレゼンテーションを行う。プレゼンテーションを行う者は、プレゼンテーションを行う当該年度に修了見込みの者に限られる。

既修得単位の認定：本専攻では上記コア領域科目の受講を推奨しているが、他大学院における取得単位について、コア領域１～６に相当する科目を対象に最大１０単位以内を既修得単位として認定する場合がある。認定を希望する場合は、入学時に申請が必要である。

[特別コース・特別プログラム]

本専攻は、下記の特別コースを有する。これらの特別コースは入試枠が異なり、入学後にコース間の移動はできない。
加えて、下記の如く、本専攻が修了を認める特別プログラムがある。
これらの詳細は、別途、「◇特別コース及び特別プログラムについて」に後述する。

＜特別コース（専門職学位課程）＞

1）１年制ＭＰＨコース（1年で修了しうるが、修了要件は上記の2年制MPHコースと同じ。）

2）臨床研究者養成（MCR）コース

3）遺伝カウンセラーコース

4）臨床統計家育成コース

＜特別プログラム＞

1）知的財産経営学プログラム（専門職学位課程対象）

2）医療経営ヤングリーダー・プログラム(専門職学位課程対象)

3）健康危機管理基盤プログラム(修士課程･専門職学位課程･博士(後期)課程対象)

4）医療技術評価（HTA）教育プログラム（社会健康医学系専攻の博士後期課程・医学専攻の博士課程対象）

（２）MPH-DrPH 課程について

出願資格：１）修士相当の学位を有する者　あるいは、２）医師・歯科医師の内、2 年以上の臨床経験あるいは卒後臨床研修を修了した者。

上記出願資格１）、２）の条件を満たし、専門職学位課程に引き続き本専攻博士後期課程に進学を希望する者で、学部あるいは修士の履修成績、入学試験および専門職学位課程入学後の成績も優秀であり、意欲と能力のある者は、審査を受け、本専攻博士後期課程の受験資格を認定された場合、専門職学位課程の修了要件を満し、かつ上記の博士後期課程入学試験に合格することにより、１年次修了時点で博士後期課程に進学できる。

受験資格の認定を希望する者は、前期にコア科目８単位以上を取得（見込）したうえで、MPH-DrPH 課程の願書、志望理由書、指導教員の推薦書(注)と、修士相当の者は、１）修士学位の証明と修士および学部の成績、あるいは医師・歯科医師の者は、２）臨床経験あるいは卒後臨床研修と在職証明書を添えて８月１日(金)までに教務課大学院教務掛に提出すること（認定を希望する者は、提出に先立ち、教務課大学院教務掛に事前に相談すること）。

本課程は、あくまで、博士後期課程への進学を前提としたものであり、進学しない場合は、１年次修了は無効となる。

(注)　課題研究に関する情報(課題名、プロトコール、進捗状況を示す資料等)は必須ではないが、推薦書に添付することができる。

（3）博士後期課程

博士後期課程に3年以上在学し、研究指導を受け、下記の所定単位を修得し、「医科学研究入門Ⅰ,Ⅱ」を履修のうえ合格し、博士論文の審査および試験に合格することが「博士（社会健康医学）」取得の要件である。なお、1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、原則42単位とする。

2022年度入学者より、大学院教育コース「社会健康医学・臨床疫学研究」において学位論文の中間ヒアリングとチューターシステムを導入することによって、大学院生の研究進捗状況をチェックし、必要に応じてアドバイスを与えることによって研究レベルの向上をサポートする体制を強化する。２年次あるいは３年次に中間ヒアリングにおいてチューターが研究進捗状況をチェックし、適切な研究方針で研究しているか、順調に研究が進展しているかなどを確認・審査する。中間ヒアリングに合格することが「実習」2単位の修得要件となる。

【2021年度以前入学者】科目		本専攻専門職学位課程修了者以外		本専攻専門職学位課程修了者
		「医療系」出身者※	「医療系」以外出身者	
博士課程セミナー		6	6	6
専門職学位課程授業科目	MPHコア５領域（コア領域１－５のすべての領域を含む）	7（領域１と領域２は、それぞれ２単位）	7（領域１と領域２は、それぞれ２単位）	―
	MPH必修（医学基礎Ⅰ(注1)、医学基礎Ⅱ、臨床医学概論）	―	6	―
計		１３	１９	6

【2022-2024年度入学者】科目		本専攻専門職学位課程修了者以外		本専攻専門職学位課程修了者
		「医療系」出身者※	「医療系」以外出身者	
博士課程セミナー		6	6	6
大学院教育コース：社会健康医学・臨床疫学研究（演習）（１年次～）		4	4	4
大学院教育コース：社会健康医学・臨床疫学研究（実習）（２年次～）		2	2	2
専門職学位課程授業科目	MPHコア５領域（コア領域１－５のすべての領域を含む）	7（領域１と領域２は、それぞれ２単位）	7（領域１と領域２は、それぞれ２単位）	―
	MPH必修（医学基礎Ⅰ(注1)、医学基礎Ⅱ、臨床医学概論）	―	6	―
計		１９	２５	１２

【2025年度以降入学者】科目	本専攻専門職学位課程修了者以外		本専攻専門職学位課程修了者
	「医療系」出身者※	「医療系」以外出身者	
博士課程セミナー	6	6	6
大学院教育コース：医科学研究入門Ⅰ	必修科目（単位付与なし）		
大学院教育コース：医科学研究入門Ⅱ ※2026年度開講予定			
大学院教育コース：社会健康医学・臨床疫学研究（演習）（１年次～）	4	4	4
大学院教育コース：社会健康医学・臨床疫学研究（実習）（２年次～）	2	2	2

専門職学位課程 授業科目	MPH コア６領域 （コア領域１－６のすべての領域を含む）	８ （領域１と領域２は、それぞれ２単位）	８ （領域１と領域２は、それぞれ２単位）	―
	MPH 必修 （医学基礎Ⅰ(注1)、医学基礎Ⅱ、臨床医学概論）	―	６	―
計		２０	２６	１２

※「医療系」出身者：医学部・看護学部・歯学部・薬学部・公衆衛生学部などの医療系学部の出身者
上記以外でかつ生物系等学部、医療系短期大学及び医療系専門学校の出身者であっても医療系の国家資格を取得できるコースの出身者は、一括認定の対象とする。
「上記の一括認定されなかった者」で、「医療系」出身者としての認定を求める際は、入学時に申請が必要である。
（注 1）「医学基礎 I」として、「医学基礎Ⅰ（生理学 I）」「医学基礎Ⅰ（神経生理学）」「医学基礎Ⅰ（解剖学）」あるいは「医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）」のいずれか履修すること。

※既修得単位の認定：本専攻では上記コア領域科目の受講を推奨しているが、他大学院における取得単位について、コア領域１～６に相当する科目を対象に最大 8 単位以内を既修得単位として認定する場合がある。認定を希望する場合は、入学時に申請が必要である。

令和７年度　社会健康医学系専攻　専門職学位課程　MPH コース授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	開講期間	主担当教員	単位	レベル	備考
コア必修	H118000	領域１ 疫学Ⅰ（疫学入門）	前期前半	中山	1	基礎	
	H119000	領域１ 疫学Ⅱ（研究デザイン）	前期前半	山本	1	基礎	
	H174000	領域２ 医療データ科学	前期すべて	松井	2	基礎	科目名変更
コア選択必修	H070000	領域３ 感染症疫学	前期後半	西浦	1	基礎	
	H124000	領域３ 産業・環境衛生学	前期前半	西浦	1	基礎	
	H126000	領域４ 保健・医療の経済評価	前期前半	今中	1	中級	
	H166000	領域４ 医療制度・政策・経済	前期すべて	今中	2	基礎	
	H109000	領域４ 医薬政策・行政	後期前半	川上	1	中級	
	H127000	領域４ 社会健康医学と健康政策	前期すべて	健康政策の運営委員会	2	基礎	
	H077000	領域５ 医学コミュニケーション基礎	前期前半	岩隈	1	基礎	
	H076000	領域５ 基礎医療倫理学	前期前半	井上	1	基礎	
	H075000	領域５ 行動科学	前期前半	田近	1	基礎	
	H157000	領域５ 社会疫学	前期	近藤	2	基礎	
	H173M01	領域６ レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	通年	今中	2	応用	
	H170M01	領域６ 健康危機管理の制度政策と実践	通年	今中	1	応用	
	H172000	領域６ 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	前期	今中	1	応用	
	H169000	領域６ 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	通年集中	中山	1	応用	
	H161000	領域６ 感染症数理モデル入門	前期	西浦	2	応用	
MPH必修	H007000	医学基礎 II	後期すべて	近藤	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ必修。
	H008000	臨床医学概論	後期すべて	近藤	2	基礎	
	H164000	医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）	前期	小川	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ、４科目のうちいずれか１科目必修。
	H154000	医学基礎Ⅰ（生理学 I）	前期前半	近藤	2	基礎	
	H163000	医学基礎Ⅰ（神経生理学）	後期後半	近藤	2	基礎	
	H153000	医学基礎Ⅰ（解剖学）	前期前半	近藤	2	基礎	
選択	H167000	QOL・PRO 評価法	後期	山本	1	中級	
	M001000	アントレプレナーシップ	前期すべて	寺西	2	基礎	
	M021000	アントレプレナーシップ特論	前期集中	早乙女	2	応用	
	Z203M01	グローバルヘルス通論	後期すべて	中山	2	中級	
	M022M01	ゲノム科学と医療	後期すべて	松田	2	応用	
	H115000	ヘルスサイエンス研究の進め方	前期後半	中山	1	基礎	
	H032000	ベンチトレーニングコース	通年集中	原田	2	応用	
	H176000	データ解析の方法	後期すべて	松井	2	中級	科目名変更

	H020000	人間生態学	後期すべて	坂本	2	基礎	
	H177000	保健活動論	後期前半	近藤	2	応用	科目名変更
	H143000	健康デザイン論	通年集中	中山	1	応用	
	H171000	健康・予防医療学領域の実装科学	後期すべて	石見	2	中級	
	H178M01	健康危機管理セミナー	通年集中	今中	2	応用	2025 年度新規開講
	H130000	健康情報学Ⅰ	後期すべて	中山	2	中級	
	H151000	健康情報学Ⅱ	後期すべて	高橋	2	中級	
	H179M01	公共政策と健康危機管理	後期集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	M120000	創薬医学特論	後期	早乙女	1	応用	
	M119000	医療ビジネス・イノベーション概論	前期すべて	早乙女	2	基礎	
	N024000	医療倫理学各論	後期	井上	2	応用	
	H103000	医療社会学・基礎	前期後半	岩隈	1	基礎	
	H175000	医療データ科学実習	前期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H079000	医薬品の開発と評価	後期後半	川上	1	中級	
	H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査	後期すべて	川上	2	応用	
	H040000	基礎人類遺伝学	前期	小川	2	基礎	
	H145000	多重性の考え方	前期前半	松井	1	中級	
	M004000	契約実務演習	後期すべて	鈴木	2	基礎	
	H093000	文献検索法	前期前半	高橋	1	基礎	
	H094000	文献評価法	前期後半	中山	1	基礎	
	H162000	毒性科学	通年集中	原田	2	基礎	
	H181M01	災害時の保健医療福祉における情報管理･活用	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	H180M01	災害時の避難生活支援	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	M024000	特許法特論・演習（前期）	前期すべて	高山	2	基礎	
	M025000	特許法特論・演習（後期）	後期すべて	田中	2	中級	
	H152000	環境・感染症論	後期すべて	山崎	2	中級	
	H159000	環境曝露・リスク評価	通年集中	原田	2	中級	
	H137000	生存時間解析	後期集中	大森	1	中級	
	H182000	産業保健と労働関連法	前期すべて	阪上	2	中級	2025 年度新規開講
	M007000	知的財産法演習	後期すべて	當麻	2	中級	
	M017000	知的財産経営学基礎	前期すべて	早乙女	2	基礎	
	H061000	社会健康医学課外実習	前期集中	所属分野の指導教員等	1 または 2	―	
	H138000	統計モデルとその応用	後期集中	大森	1	中級	
	H134000	統計家の行動基準	前期集中	松井	1	応用	
	H136000	統計的推測の基礎	前期すべて	大森	2	中級	

	H112000	臨床試験	前期すべて	田中	2	中級	
	H135000	臨床試験の統計的方法	後期前半	田中	1		
	N023000	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング	前期	小川	2	基礎	
	H142000	行政医学・産業医学	前期	今中	2	応用	
	H022000	解析計画実習	後期すべて	松井	2	応用	
	H160000	質的研究・演習	通年	岩隈	2	中級	
	H156000	質的研究入門	前期後半	中山	1	基礎	
	N017000	遺伝医学特論（集中講義）	前期集中	川崎	2	応用	
	N015000	遺伝医療と倫理・社会	前期	川崎	2	基礎	
	H129000	医療の質評価	－	－	1	中級	2025 年度は開講せず
	S004000	統計遺伝学Ⅰ	－	－	2	中級	開講未定
	S005000	統計遺伝学Ⅱ	－	－	2	中級	開講未定
	H063000	フィールドワーク	－	－	2	中級	2025 年度は開講せず

［レベル］ 基礎：予備知識を必要としないレベル、中級：一定の予備知識や経験を求めるレベル、応用：社会での実践や研究へ応用できるレベル、空欄：各シラバス参照

- 医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）と基礎人類遺伝学の両方を履修することはできない。
- 2023 年度までに「メディカル分野技術経営学概論」の単位を取得した学生は、「医療ビジネス・イノベーション概論」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2023 年度までに「ポストコロナ社会のイノベーション:展望と自由提言」の単位を取得した学生は、「レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「医療統計学」の単位を取得した学生は、「医療データ科学」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「交絡調整の方法」の単位を取得した学生は、「データ解析の方法」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「地域保健活動論」の単位を取得した学生は、「保健活動論」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「医療統計学実習」の単位を取得した学生は、「医療データ科学実習」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「ゲノム科学と医療（科目コード：M022000）」の単位を取得した学生は、「ゲノム科学と医療（科目コード：M022M01）」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「医療倫理学各論（科目コード：N018000）」の単位を取得した学生は、「医療倫理学各論（科目コード：N024000）」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。

※　前年度以前開講科目の科目変更については、「(別表 3) 科目変更対応表」を確認すること

◇専門職学位課程特別コース及び特別プログラムについて

＜特別コース＞

Ⅰ．臨床研究者養成（MCR）コース

（https://mcr.med.kyoto-u.ac.jp/ ）

（1）学習達成目標

① 臨床研究を支える種々の基本理論、知識、実践技術に習熟すること。

② 自分の臨床上の疑問に基づいた臨床研究を計画し、研究プロトコールの作成、研究の実施・マネジメント、得られたデータの基本的な解析処理、結果の解釈、論文にまとめる、などの一連の作業を独力でできる。

③ 自分の臨床研究の計画・実施・解析・解釈の過程で生じる疑問について、適切な時期に、適切な専門家に、適切な相談・照会ができる。

（2）本コースのカリキュラムの特徴

① 集中的な授業・実習

本コースでは、臨床研究の基本（理論、知識、方法、実践）を１年間で体系的に学習できるよう全体のカリキュラムが構成されている。加えて、本コース推奨科目以外にも社会健康医学系専攻が提供する殆ど全ての科目を履修することができる。なお、学生が入学前に取得した科目があり、既修得単位として認められれば履修が免除される。

② 個別指導（メンタリング）の重視

本コースの学生には、入学時に1～2名の個別指導担当教員（メンター）を決定し、この担当教員が責任を持って担当学生の研究プロトコールの作成やデータの解析の指導、および実際の研究計画実施上の指導を行なう。研究の種類にもよるが、必要に応じて２名が指導教員となることもある。この個別指導は、本コース在学期間のみでなく、双方の合意のもとに、修了後も、研究実施、結果解析、論文作成まで継続的に行うことを念頭につくられている。指導教員の決定にあたっては、学生本人と本コース教員の間で協議を行ない決定する。

③ 修了時の課題研究発表と試問

本コース修了時に、全ての学生は、自分の臨床上の疑問に基づく臨床研究を完成させ（研究プロトコールも認める）、発表会で試問を受け、合格する必要がある。

なお専門職大学院のため、修士論文などは課さない。

（3）修了要件

科目	単位数
MPH コア６領域（コア領域１－６のすべての領域を含む８単位以上*）および MCR 必修科目	１５
選択科目	１１
課題研究	４
計	３０

*詳細は、「MCR コース授業科目一覧表」を参照。

（注）MPH コア科目を８単位を超えて取得した場合は、選択科目として算入する。

照会先：臨床情報疫学分野および各担当分野

令和７年度　社会健康医学系専攻　臨床研究者養成（MCR）コース　授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	開講期間	主担当教員	単位	レベル	備考
コア必修	H118000	領域１ 疫学Ⅰ（疫学入門）	前期前半	中山	1	基礎	
	H119000	領域１ 疫学Ⅱ（研究デザイン）	前期前半	山本	1	基礎	
	H174000	領域２ 医療データ科学	前期すべて	松井	2	基礎	科目名変更
コア選択必修	H070000	領域３ 感染症疫学	前期後半	西浦	1	基礎	
	H124000	領域３ 産業・環境衛生学	前期前半	西浦	1	基礎	
	H166000	領域４ 医療制度・政策・経済	前期すべて	今中	2	基礎	
	H127000	領域４ 社会健康医学と健康政策	前期すべて	健康政策の運営委員会	2	基礎	
	H077000	領域５ 医学コミュニケーション基礎	前期前半	岩隈	1	基礎	
	H076000	領域５ 基礎医療倫理学	前期前半	井上	1	基礎	
	H157000	領域５ 社会疫学	前期すべて	近藤	2	基礎	
	H075000	領域５ 行動科学	前期前半	田近	1	基礎	
	H173M01	領域６ レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	通年	今中	2	応用	
	H170M01	領域６ 健康危機管理の制度政策と実践	通年	今中	1	応用	
	H172000	領域６ 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	前期	今中	1	応用	
	H169000	領域６ 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	通年集中	中山	1	応用	
	H161000	領域６ 感染症数理モデル入門	前期	西浦	2	応用	
必修	H094000	文献評価法	前期後半	中山	1	基礎	
	H112000	臨床試験	前期すべて	田中	2	中級	
MCR限定必修	K030000	医療技術の経済評価	前期前半	今中	1	応用	
	K026000	臨床研究計画法Ⅰ	前期すべて	川上	1	応用	
	K027000	臨床研究計画法Ⅱ	後期すべて	川上	1	応用	
	K028000	臨床研究計画法演習Ⅰ	前期すべて	山本	1	応用	
	K029000	臨床研究計画法演習Ⅱ	後期すべて	山本	1	応用	
推奨選択	H130000	健康情報学Ⅰ	後期すべて	中山	2	中級	
	H079000	医薬品の開発と評価	後期後半	川上	1	中級	
	H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査	後期すべて	川上	2	応用	
	H109000	領域４ 医薬政策・行政	後期前半	川上	1	中級	
MCR限定選択	K020000	EBM・診療ガイドライン特論	後期すべて	中山	1	応用	
	K033000	データ解析法特論	前期後半	山本	1	中級	
	H146000	メタアナリシス	前期集中	田中	1	応用	

	K035000	社会疫学研究法	前期後半	近藤	1	応用	
	K036000	系統的レビュー	後期すべて	小川	1	応用	
	K025000	臨床研究データ管理学	後期前半	中尾葉子	1	応用	
	K034000	臨床研究特論	後期すべて	石見	2	応用	
選択	H167000	QOL・PRO 評価法	後期	山本	1	中級	
	M001000	アントレプレナーシップ	前期すべて	寺西	2	基礎	
	M021000	アントレプレナーシップ特論	前期集中	早乙女	2	応用	
	Z203M01	グローバルヘルス通論	後期すべて	中山	2	中級	
	H115000	ヘルスサイエンス研究の進め方	前期後半	中山	1	基礎	
	H032000	ベンチトレーニングコース	通年集中	原田	2	応用	
	H176000	データ解析の方法	後期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H020000	人間生態学	後期すべて	坂本	2	基礎	
	H177000	保健活動論	後期前半	近藤	2	応用	科目名変更
	H143000	健康デザイン論	通年集中	中山	1	応用	
	H171000	健康・予防医療学領域の実装科学	後期すべて	石見	2	中級	
	H178M01	健康危機管理セミナー	通年集中	今中	2	応用	2025 年度新規開講
	H151000	健康情報学Ⅱ	後期すべて	高橋	2	中級	
	H179M01	公共政策と健康危機管理	後期集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	M120000	創薬医学特論	後期	早乙女	1	応用	
	M119000	医療ビジネス・イノベーション概論	前期すべて	早乙女	2	基礎	
	N024000	医療倫理学各論	後期	井上	2	応用	
	H103000	医療社会学・基礎	前期後半	岩隈	1	基礎	
	H175000	医療データ科学実習	前期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H040000	基礎人類遺伝学	前期	小川	2	基礎	
	H145000	多重性の考え方	前期前半	松井	1	中級	
	M004000	契約実務演習	後期すべて	鈴木	2	基礎	
	H093000	文献検索法	前期前半	高橋	1	基礎	
	H162000	毒性科学	通年集中	原田	2	基礎	
	H181M01	災害時の保健医療福祉における情報管理･活用	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	H180M01	災害時の避難生活支援	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	M024000	特許法特論・演習（前期）	前期すべて	高山	2	基礎	
	M025000	特許法特論・演習（後期）	後期すべて	田中	2	中級	
	H152000	環境・感染症論	後期すべて	山崎	2	中級	
	H159000	環境曝露・リスク評価	通年集中	原田	2	中級	
	H137000	生存時間解析	後期集中	大森	1	中級	

	H182000	産業保健と労働関連法	前期すべて	阪上	2	中級	2025 年度新規開講
	M007000	知的財産法演習	後期すべて	當麻	2	中級	
	M017000	知的財産経営学基礎	前期すべて	早乙女	2	基礎	
	H061000	社会健康医学課外実習	前期集中	所属分野の指導教員等	1 または 2	―	
	H138000	統計モデルとその応用	後期集中	大森	1	中級	
	H134000	統計家の行動基準	前期集中	松井	1	応用	
	H136000	統計的推測の基礎	前期すべて	大森	2	中級	
	H135000	臨床試験の統計的方法	後期前半	田中	1		
	N023000	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング	前期	小川	2	基礎	
	H142000	行政医学・産業医学	前期	今中	2	応用	
	H022000	解析計画実習	後期すべて	松井	2	応用	
	H160000	質的研究・演習	通年	岩隈	2	中級	
	H156000	質的研究入門	前期後半	中山	1	基礎	
	N017000	遺伝医学特論（集中講義）	前期集中	川崎	2	応用	
	N015000	遺伝医療と倫理・社会	前期	川崎	2	基礎	
	H129000	医療の質評価	－	－	1	中級	2025 年度は開講せず
	S004000	統計遺伝学Ⅰ	－	－	2	中級	開講未定
	S005000	統計遺伝学Ⅱ	－	－	2	中級	開講未定
	H063000	フィールドワーク	－	－	2	中級	2025 年度は開講せず

［レベル］ 基礎：予備知識を必要としないレベル、中級：一定の予備知識や経験を求めるレベル、応用：社会での実践や研究へ応用できるレベル、空欄：各シラバス参照

MCR 限定科目は、MCR 専科生および受講生のみ受講可能である。聴講は不可。
推奨選択は必修・選択の区分に関わらずコースとして推奨される科目。

※ 前年度以前開講科目の科目変更については、「（別表 3）科目変更対応表」を確認すること

Ⅱ．遺伝カウンセラーコース

（http://sph.med.kyoto-u.ac.jp/class-06.html）

（1） 遺伝カウンセラーコースの概要

ゲノム・遺伝情報を利用した医療、遺伝薬理学情報に基づいたテーラーメード医療に対応できる高度な専門的知識と技術ならびにコミュニケーション能力をもち、患者・家族の立場を理解して新医療とのインターフェースとなりうる人材を総合的に養成する。

（2） 遺伝カウンセラーコースの特徴

① 充実したスタッフ：この分野でトップレベルの多数の指導者が社会健康医学系専攻の教員とともに充実した専門教育を行う。

② 社会健康医学の幅広い素養：社会健康医学コア科目を履修する。修了時には、社会健康医学修士(専門職)(Master of Public Health; MPH)の学位が授けられる。

③ 充実した実習：現場での実習に特に重点を置いており、京都大学医学部附属病院遺伝子診療部などでの充実した実習が可能である。

④ 資格認定試験受験資格：遺伝カウンセラーコース：コース終了後、「認定遺伝カウンセラー」資格認定試験受験資格が得られる。

（3） 修了要件

【2024 年度以前入学者】

科目	「医療系」出身者※	「医療系」以外出身者
MPH コア 5 領域（コア領域１－５のすべての領域を含むこと）	7	7
医学基礎Ⅰ(注1)、医学基礎Ⅱ、臨床医学概論	－	6
遺伝カウンセラーコース必修	２９	２７
課題研究	4	4
合計	４０	４４

【2025 年度以降入学者】

科目	「医療系」出身者※	「医療系」以外出身者
MPH コア 6 領域（コア領域１－６のすべての領域を含むこと）	8	8
医学基礎Ⅰ(注1)、医学基礎Ⅱ、臨床医学概論	－	6
遺伝カウンセラーコース必修	２１	１９
課題研究	4	4
合計	３３	３７

※「医療系」出身者：医学部・看護学部・歯学部・薬学部・公衆衛生学部などの医療系学部の出身者
上記以外でかつ生物系等学部、医療系短期大学及び医療系専門学校の出身者であっても医療系の国家資格を取得できるコースの出身者は、一括認定の対象とする。
「上記の一括認定されなかった者」で、「医療系」出身者としての認定を求める際は、入学時に申請が必要である。
(注 1) 医学基礎Ⅰとして、「医療系以外出身者」は「医学基礎Ⅰ（「基礎人類遺伝学」」を履修すること。
なお、「医療系出身者」は「基礎人類遺伝学」を履修すること。

(参考) 課題研究：
初年度の学習や実習経験に基づいて専門領域の発展にふさわしいテーマを見出し、テーマごとにもっとも適切な教員の指導のもと、遺伝医療および遺伝カウンセリングの臨床現場の質の向上に資するとともに、クライエントのＱＯＬの改善につながるような研究を行い、とりまとめを行う。

照会先:遺伝医療学分野

令和７年度　社会健康医学系専攻　遺伝カウンセラーコース　授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	開講期間	主担当教員	単位	レベル	備考
コア必修	H118000	領域１ 疫学Ⅰ（疫学入門）	前期前半	中山	1	基礎	
	H119000	領域１ 疫学Ⅱ（研究デザイン）	前期前半	山本	1	基礎	
	H174000	領域２ 医療データ科学	前期すべて	松井	2	基礎	科目名変更
コア選択必修	H070000	領域３ 感染症疫学	前期後半	西浦	1	基礎	
	H124000	領域３ 産業・環境衛生学	前期前半	西浦	1	基礎	
	H126000	領域４ 保健・医療の経済評価	前期前半	今中	1	中級	
	H166000	領域４ 医療制度・政策・経済	前期すべて	今中	2	基礎	
	H109000	領域４ 医薬政策・行政	後期前半	川上	1	中級	
	H127000	領域４ 社会健康医学と健康政策	前期すべて	健康政策の運営委員会	2	基礎	
	H076000	領域５ 基礎医療倫理学	前期前半	井上	1	基礎	
	H173M01	領域６ レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	通年	今中	2	応用	
	H170M01	領域６ 健康危機管理の制度政策と実践	通年	今中	1	応用	
	H172000	領域６ 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	前期その他	今中	1	応用	
	H169000	領域６ 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	通年集中	中山	1	応用	
	H161000	領域６ 感染症数理モデル入門	前期その他	西浦	2	応用	
MPH必修	H007000	医学基礎 II	後期すべて	近藤	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ必修。
	H008000	臨床医学概論	後期すべて	近藤	2	基礎	
	H164000	医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）	前期その他	小川	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ、４科目のうちいずれか１科目必修。（GC コース「医療系」以外出身者は、医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）を必修とする）
	H154000	医学基礎Ⅰ（生理学Ⅰ）	前期前半	近藤	2	基礎	
	H163000	医学基礎Ⅰ（神経生理学）	後期後半	近藤	2	基礎	
	H153000	医学基礎Ⅰ（解剖学）	前期前半	近藤	2	基礎	
必修	H040000	基礎人類遺伝学	前期その他	小川	2	基礎	
	N023000	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング	前期その他	小川	2	基礎	
	N015000	遺伝医療と倫理・社会	前期その他	川崎	2	基礎	
GC限定必修	N022000	基礎人類遺伝学演習	後期すべて	小川	1	応用	
	N006000	臨床遺伝学演習（ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ演習）	後期その他	川崎	1	応用	
	N009000	遺伝カウンセリング実習１	通年	小川	2	基礎	
	N010000	遺伝カウンセリング実習２	通年	小川	4	応用	
	N007000	遺伝カウンセリング演習１	通年すべて	川崎	2	基礎	
	N008000	遺伝カウンセリング演習２	通年すべて	川崎	2	応用	
	N020000	遺伝ｶｳﾝｾﾗｰｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ概論	通年	川崎	3	基礎	

推奨選択	M022M01	ゲノム科学と医療	後期すべて	松田	2	応用	
	N024000	医療倫理学各論	後期その他	井上	2	応用	
	H093000	文献検索法	前期前半	高橋	1	基礎	
	H094000	文献評価法	前期後半	中山	1	基礎	
	H156000	質的研究入門	前期後半	中山	1	基礎	
	N017000	遺伝医学特論（集中講義）	前期集中	川崎	2	応用	
	H077000	領域５ 医学コミュニケーション基礎	前期前半	岩隈	1	基礎	
	H157000	領域５ 社会疫学	前期すべて	近藤	2	基礎	
	H075000	領域５ 行動科学	前期前半	田近	1	基礎	
選択	H167000	QOL・PRO 評価法	後期その他	山本	1	中級	
	M001000	アントレプレナーシップ	前期すべて	寺西	2	基礎	
	M021000	アントレプレナーシップ特論	前期集中	早乙女	2	応用	
	Z203M01	グローバルヘルス通論	後期すべて	中山	2	中級	
	H115000	ヘルスサイエンス研究の進め方	前期後半	中山	1	基礎	
	H032000	ベンチトレーニングコース	通年集中	原田	2	応用	
	H176000	データ解析の方法	後期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H020000	人間生態学	後期すべて	坂本	2	基礎	
	H177000	保健活動論	後期前半	近藤	2	応用	科目名変更
	H143000	健康デザイン論	通年集中	中山	1	応用	
	H171000	健康・予防医療学領域の実装科学	後期すべて	石見	2	中級	
	H178M01	健康危機管理セミナー	通年集中	今中	2	応用	2025 年度新規開講
	H130000	健康情報学Ⅰ	後期すべて	中山	2	中級	
	H151000	健康情報学Ⅱ	後期すべて	高橋	2	中級	
	H179M01	公共政策と健康危機管理	後期集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	M120000	創薬医学特論	後期	早乙女	1	応用	
	M119000	医療ビジネス・イノベーション概論	前期すべて	早乙女	2	基礎	
	H103000	医療社会学・基礎	前期後半	岩隈	1	基礎	
	H175000	医療データ科学実習	前期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H079000	医薬品の開発と評価	後期後半	川上	1	中級	
	H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査	後期すべて	川上	2	応用	
	H145000	多重性の考え方	前期前半	松井	1	中級	
	M004000	契約実務演習	後期すべて	鈴木	2	基礎	
	H162000	毒性科学	通年集中	原田	2	基礎	
	H181M01	災害時の保健医療福祉における情報管理･活用	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	H180M01	災害時の避難生活支援	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講

	M024000	特許法特論・演習（前期）	前期すべて	高山	2	基礎	
	M025000	特許法特論・演習（後期）	後期すべて	田中	2	中級	
	H152000	環境・感染症論	後期すべて	山崎	2	中級	
	H159000	環境曝露・リスク評価	通年集中	原田	2	中級	
	H137000	生存時間解析	後期集中	大森	1	中級	
	M007000	知的財産法演習	後期すべて	當麻	2	中級	
	M017000	知的財産経営学基礎	前期すべて	早乙女	2	基礎	
	H061000	社会健康医学課外実習	前期集中	所属分野の指導教員等	1または2	―	
	H138000	統計モデルとその応用	後期集中	大森	1	中級	
	H134000	統計家の行動基準	前期集中	松井	1	応用	
	H136000	統計的推測の基礎	前期すべて	大森	2	中級	
	H112000	臨床試験	前期すべて	田中	2	中級	
	H135000	臨床試験の統計的方法	後期前半	田中	1		
	H142000	行政医学・産業医学	前期その他	今中	2	応用	
	H022000	解析計画実習	後期すべて	松井	2	応用	
	H160000	質的研究・演習	通年	岩隈	2	中級	
	H168000	遺伝サービス情報学	-	-	1	基礎	2025 年度は開講せず
	H129000	医療の質評価	-	-	1	中級	2025 年度は開講せず
	S004000	統計遺伝学Ⅰ	-	-	2	中級	開講未定
	S005000	統計遺伝学Ⅱ	-	-	2	中級	開講未定
	H063000	フィールドワーク	-	-	2	中級	2025 年度は開講せず

［レベル］ 基礎：予備知識を必要としないレベル、中級：一定の予備知識や経験を求めるレベル、応用：社会での実践や研究へ応用できるレベル、空欄：各シラバス参照

推奨選択は必修・選択の区分に関わらずコースとして推奨される科目。

- 医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）と基礎人類遺伝学の両方を履修することはできない。
- 2023 年度までに「メディカル分野技術経営学概論」の単位を取得した学生は、「医療ビジネス・イノベーション概論」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2023 年度までに「ポストコロナ社会のイノベーション:展望と自由提言」の単位を取得した学生は、「レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「医療統計学」の単位を取得した学生は、「医療データ科学」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「交絡調整の方法」の単位を取得した学生は、「データ解析の方法」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「地域保健活動論」の単位を取得した学生は、「保健活動論」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「医療統計学実習」の単位を取得した学生は、「医療データ科学実習」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「ゲノム科学と医療（科目コード：M022000）」の単位を取得した学生は、「ゲノム科学と医療（科目コード：M022M01）」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。

- 2024 年度までに「医療倫理学各論（科目コード：N018000）」の単位を取得した学生は、「医療倫理学各論（科目コード：N024000）」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。

※　前年度以前開講科目の科目変更については、「（別表 3）科目変更対応表」を確認すること

Ⅲ．臨床統計家育成（CB）コース

（http://www.cbc.med.kyoto-u.ac.jp/）

（1）学習達成目標

① 臨床研究の科学的な質を保つために必要な統計学基礎および臨床統計学を修めること。特に「臨床試験のための統計的原則（ICH E9 ガイドライン）」について 十分に理解すること。

② 病院での臨床研究に関する実地研修を通じて、統計解析、データマネジメント等の実務を経験し、臨床統計家に求められる技術に習熟すること。

③ 臨床研究の倫理的な質を保つために必要な知識・態度を身に着けること。特に日本計量生物学会作成の「統計家の行動基準」について十分に理解すること。

（2）本コースのカリキュラムの特徴

本コースは、臨床統計家の人材供給を求める日本の臨床研究現場からの強いニーズにより設置された 2 年制の専門職学位課程である。コース修了後は、臨床統計家育成コースを修了したことを証明する修了証とともに社会健康医学修士（専門職）が授与される。本コースでは、臨床統計家に必要な知識、技術、態度を 2 年間で体系的に学習できるよう、臨床統計関連科目だけではなく、医学、疫学、研究倫理などから全体のカリキュラムが構成されている。これに加えて、臨床試験を実施している京都大学医学部附属病院・国立循環器病研究センターと連携し、on the job training による臨床研究に関する実地研修を提供する（1 年次・2 年次の夏季集中で行う臨床研究実地研修Ⅰ・Ⅱ）。この実務経験を通じて、 計画立案、データマネジメント、解析等、臨床統計学の実践的な技術を学ぶことができる。また、本コース推奨科目以外にも社会健康医学系専攻が提供する多くの科目を履修することができる。

（3）修了要件

【2024 年度以前入学者】

科目	「医療系」出身者※	「医療系」以外出身者
MPH コア 5 領域（コア領域１－５のすべての領域を含むこと）	１０	１０
医学基礎Ⅰ(注1)、医学基礎Ⅱ、臨床医学概論	－	６
臨床統計家育成コース必修	１９	１９
課題研究	４	４
合計	３３	３９

【2025 年度以降入学者】

科目	「医療系」出身者※	「医療系」以外出身者
MPH コア 6 領域（コア領域１－６のすべての領域を含むこと）	１０	１０
医学基礎Ⅰ(注1)、医学基礎Ⅱ、臨床医学概論	－	６
臨床統計家育成コース必修	１９	１９
課題研究	４	４
合計	３３	３９

※「医療系」出身者：医学部・看護学部・歯学部・薬学部・公衆衛生学部などの医療系学部の出身者
上記以外でかつ生物系等学部、医療系短期大学及び医療系専門学校の出身者であっても医療系の国家資格を取得できるコースの出身者は、一括認定の対象とする。
「上記の一括認定されなかった者」で、「医療系」出身者としての認定を求める際は、入学時に申請が必要である。
（注 1）「医学基礎Ⅰ」として、「医学基礎Ⅰ（生理学Ⅰ）」「医学基礎Ⅰ（神経生理学）」「医学基礎Ⅰ（解剖学）」あるいは「医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）」のいずれか履修すること。

照会先：医療統計学分野および臨床統計学分野

令和７年度　社会健康医学系専攻　臨床統計家育成コース　授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	開講期間	主担当教員	単位	レベル	備考
コア必修	H118000	領域１ 疫学Ⅰ（疫学入門）	前期前半	中山	1	基礎	
	H119000	領域１ 疫学Ⅱ（研究デザイン）	前期前半	山本	1	基礎	
	H174000	領域２ 医療データ科学	前期すべて	松井	2	基礎	科目名変更
コア選択必修	H070000	領域３ 感染症疫学	前期後半	西浦	1	基礎	
	H124000	領域３ 産業・環境衛生学	前期前半	西浦	1	基礎	
	H166000	領域４ 医療制度・政策・経済	前期すべて	今中	2	基礎	
	H127000	領域４ 社会健康医学と健康政策	前期すべて	健康政策の運営委員会	2	基礎	
	H077000	領域５ 医学コミュニケーション基礎	前期前半	岩隈	1	基礎	
	H076000	領域５ 基礎医療倫理学	前期前半	井上	1	基礎	
	H157000	領域５ 社会疫学	前期すべて	近藤	2	基礎	
	H075000	領域５ 行動科学	前期前半	田近	1	基礎	
	H173M01	領域６ レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	通年	今中	2	応用	
	H170M01	領域６ 健康危機管理の制度政策と実践	通年	今中	1	応用	
	H172000	領域６ 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	前期	今中	1	応用	
	H169000	領域６ 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	通年集中	中山	1	応用	
	H161000	領域６ 感染症数理モデル入門	前期	西浦	2	応用	
MPH必修	H007000	医学基礎Ⅱ	後期すべて	近藤	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ必修。
	H008000	臨床医学概論	後期すべて	近藤	2	基礎	
	H164000	医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）	前期	小川	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ、４科目のうちいずれか１科目必修
	H154000	医学基礎Ⅰ（生理学Ⅰ）	前期前半	近藤	2	基礎	
	H163000	医学基礎Ⅰ（神経生理学）	後期後半	近藤	2	基礎	
	H153000	医学基礎Ⅰ（解剖学）	前期前半	近藤	2	基礎	
必修	H137000	生存時間解析	後期集中	大森	1	中級	
	H138000	統計モデルとその応用	後期集中	大森	1	中級	
	H134000	統計家の行動基準	前期集中	松井	1	応用	
	H136000	統計的推測の基礎	前期すべて	大森	2	中級	
	H112000	臨床試験	前期すべて	田中	2	中級	
	H135000	臨床試験の統計的方法	後期前半	田中	1		
CB限定必修	K025000	臨床研究データ管理学	後期前半	中尾葉子	1	応用	
	H140000	臨床研究実地研修Ⅰ	通年集中	田中	2	応用	
	H147000	臨床研究実地研修Ⅱ	通年集中	田中	2	応用	
	H176000	データ解析の方法	後期すべて	松井	2	中級	科目名変更

	H175000	医療データ科学実習	前期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H022000	解析計画実習	後期すべて	松井	2	応用	
推奨選択	H144000	統計的推測の基礎・演習	前期すべて	大森	1	中級	
	H139000	臨床統計家の実務スキル	前期すべて	大森	1	基礎	
	H130000	健康情報学Ⅰ	後期すべて	中山	2	中級	
	H151000	健康情報学Ⅱ	後期すべて	高橋	2	中級	
	H079000	医薬品の開発と評価	後期後半	川上	1	中級	
	H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査	後期すべて	川上	2	応用	
	H145000	多重性の考え方	前期前半	松井	1	中級	
	H093000	文献検索法	前期前半	高橋	1	基礎	
	H094000	文献評価法	前期後半	中山	1	基礎	
	H126000	領域 4 保健・医療の経済評価	前期前半	今中	1	中級	
	H109000	領域 4 医薬政策・行政	後期前半	川上	1	中級	
CB限定選択	H146000	メタアナリシス	前期集中	田中	1	応用	
選択	H167000	QOL・PRO 評価法	後期	山本	1	中級	
	M001000	アントレプレナーシップ	前期すべて	寺西	2	基礎	
	M021000	アントレプレナーシップ特論	前期集中	早乙女	2	応用	
	Z203M01	グローバルヘルス通論	後期すべて	中山	2	中級	
	H115000	ヘルスサイエンス研究の進め方	前期後半	中山	1	基礎	
	H032000	ベンチトレーニングコース	通年集中	原田	2	応用	
	H020000	人間生態学	後期すべて	坂本	2	基礎	
	H177000	保健活動論	後期前半	近藤	2	応用	科目名変更
	H143000	健康デザイン論	通年集中	中山	1	応用	
	H171000	健康・予防医療学領域の実装科学	後期すべて	石見	2	中級	
	H178M01	健康危機管理セミナー	通年集中	今中	2	応用	2025 年度新規開講
	H179M01	公共政策と健康危機管理	後期集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	M120000	創薬医学特論	後期	早乙女	1	応用	
	M119000	医療ビジネス・イノベーション概論	前期すべて	早乙女	2	基礎	
	N024000	医療倫理学各論	後期	井上	2	応用	
	H103000	医療社会学・基礎	前期後半	岩隈	1	基礎	
	H040000	基礎人類遺伝学	前期	小川	2	基礎	
	M004000	契約実務演習	後期すべて	鈴木	2	基礎	
	H162000	毒性科学	通年集中	原田	2	基礎	
	H181M01	災害時の保健医療福祉における情報管理･活用	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講

	H180M01	災害時の避難生活支援	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	M024000	特許法特論・演習（前期）	前期すべて	高山	2	基礎	
	M025000	特許法特論・演習（後期）	後期すべて	田中	2	中級	
	H152000	環境・感染症論	後期すべて	山崎	2	中級	
	H159000	環境曝露・リスク評価	通年集中	原田	2	中級	
	M007000	知的財産法演習	後期すべて	當麻	2	中級	
	M017000	知的財産経営学基礎	前期すべて	早乙女	2	基礎	
	H061000	社会健康医学課外実習	前期集中	所属分野の指導教員等	1 または 2	―	
	N023000	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング	前期	小川	2	基礎	
	H142000	行政医学・産業医学	前期	今中	2	応用	
	H160000	質的研究・演習	通年	岩隈	2	中級	
	H156000	質的研究入門	前期後半	中山	1	基礎	
	N017000	遺伝医学特論（集中講義）	前期集中	川崎	2	応用	
	N015000	遺伝医療と倫理・社会	前期	川崎	2	基礎	
	H129000	医療の質評価	-	-	1	中級	2025 年度は開講せず
	S004000	統計遺伝学Ⅰ	-	-	2	中級	開講未定
	S005000	統計遺伝学Ⅱ	-	-	2	中級	開講未定
	H063000	フィールドワーク	-	-	2	中級	2025 年度は開講せず

［レベル］ 基礎：予備知識を必要としないレベル、中級：一定の予備知識や経験を求めるレベル、応用：社会での実践や研究へ応用できるレベル、空欄：各シラバス参照

推奨選択は必修・選択の区分に関わらずコースとして推奨される科目。

- 医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）と基礎人類遺伝学の両方を履修することはできない。
- 2023 年度までに「メディカル分野技術経営学概論」の単位を取得した学生は、「医療ビジネス・イノベーション概論」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2023 年度までに「ポストコロナ社会のイノベーション:展望と自由提言」の単位を取得した学生は、「レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「医療統計学」の単位を取得した学生は、「医療データ科学」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「交絡調整の方法」の単位を取得した学生は、「データ解析の方法」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「地域保健活動論」の単位を取得した学生は、「保健活動論」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「医療統計学実習」の単位を取得した学生は、「医療データ科学実習」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「医療倫理学各論（科目コード：N018000）」の単位を取得した学生は、「医療倫理学各論（科目コード：N024000）」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。

※ 前年度以前開講科目の科目変更については、「（別表 3）科目変更対応表」を確認すること

＜特別プログラム＞

Ⅰ．知的財産経営学プログラム

（１）知的財産経営学プログラムの概要

大学の研究成果をもとに新規産業を興し経営するには、これまでの日本の企業風土で蓄積された企業文化、経営のノウハウとは異なるものが要求される。その一つが技術経営であり、特に知的財産を最大限に活用する知的財産戦略を担うディレクター（知的財産ディレクター）の仕事である。ここで期待される人材は、複数の異なるベクトルを持つ必要がある。

① 自然科学の分野において、医学研究科で先端医学領域の研究を実施している教員や産業界における探索・開発研究の経験が豊富な教員による講義により、トップレベルの科学的な知識とそれの活用に当たっての社会的受容性の知識を習得してもらう。

② 人文・社会健康医学系専攻科学の分野において、知的財産権やその他ビジネスに関する基礎は、各専門分野により選ばれた教員の講義から知識を学ぶと共に、実業界でのキャリアーを持つ講師（ベンチャーキャピタル分野）から、企業会計や知的財産の市場評価・流通の実務的なスキルと知識を学ぶ。

③ 上記により習得した知識をベースとして、実務経験を通した知識の深化と、即戦力としての実務能力の養成を行う。具体的には、京都大学医学領域拠点業務との連携やエクスターンシップの実施も含めて、テーマ毎に適切な指導教員のもとで研究者とも連携し、研究成果の権利化と活用の実務を手伝う。実施項目としては、発明の抽出、周辺特許調査、明細書作成、ビジネスプラン作成、契約実務作業等を経験する。これらにより発明の開示から知的財産としての活用までの全体の流れを把握し、出願妥当性の判断に至る経緯の考察や産業界との連携における問題点と解決法に関する考察などのプレゼンテーションまで実際に経験させる。

これらにより専門職大学院として問題解決能力、実践・実務能力を身に付け、生命科学分野における知的財産経営、技術経営に関する高度な専門性を有する人材養成のための教育研究を行う。

（2）修了要件

本プログラムの修了要件は、2 年以上在学し、下記の 30 単位を修得し、本プログラムが定めるカリキュラムを修了することである。

【2024 年度以前入学者】

	「医療系」出身者	「医療系」以外出身者
MPH コア 5 領域（コア領域１－５のすべての領域を含む）	7	7
MPH 必須	－	6
知的財産領域必修	8	8
課題研究（知的財産経営学）	4	4
選択	１１	5
計	３０	３０

【2025 年度以降入学者】

	「医療系」出身者	「医療系」以外出身者
MPH コア 6 領域（コア領域１－６のすべての領域を含む）	8	8
MPH 必須	－	6
知的財産領域必修	8	8
課題研究（知的財産経営学）	4	4
選択	１０	5
計	３０	３１

照会先：知的財産経営学分野

令和７年度　社会健康医学系専攻　知的財産経営学プログラム　授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	開講期間	主担当教員	単位	レベル	備考
コア必修	H118000	領域１ 疫学Ⅰ（疫学入門）	前期前半	中山	1	基礎	
	H119000	領域１ 疫学Ⅱ（研究デザイン）	前期前半	山本	1	基礎	
	H174000	領域２ 医療データ科学	前期すべて	松井	2	基礎	科目名変更
コア選択必修	H070000	領域３ 感染症疫学	前期後半	西浦	1	基礎	
	H124000	領域３ 産業・環境衛生学	前期前半	西浦	1	基礎	
	H126000	領域４ 保健・医療の経済評価	前期前半	今中	1	中級	
	H166000	領域４ 医療制度・政策・経済	前期すべて	今中	2	基礎	
	H109000	領域４ 医薬政策・行政	後期前半	川上	1	中級	
	H127000	領域４ 社会健康医学と健康政策	前期すべて	健康政策の運営委員会	2	基礎	
	H077000	領域５ 医学コミュニケーション基礎	前期前半	岩隈	1	基礎	
	H076000	領域５ 基礎医療倫理学	前期前半	井上	1	基礎	
	H157000	領域５ 社会疫学	前期すべて	近藤	2	基礎	
	H075000	領域５ 行動科学	前期前半	田近	1	基礎	
	H173M01	領域６ レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	通年	今中	2	応用	
	H170M01	領域６ 健康危機管理の制度政策と実践	通年	今中	1	応用	
	H172000	領域６ 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	前期	今中	1	応用	
	H169000	領域６ 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	通年集中	中山	1	応用	
	H161000	領域６ 感染症数理モデル入門	前期	西浦	2	応用	
MPH必修	H007000	医学基礎 II	後期すべて	近藤	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ必修。
	H008000	臨床医学概論	後期すべて	近藤	2	基礎	
	H164000	医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）	前期	小川	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ、４科目のうちいずれか１科目必修
	H154000	医学基礎Ⅰ（生理学 I）	前期前半	近藤	2	基礎	
	H163000	医学基礎Ⅰ（神経生理学）	後期後半	近藤	2	基礎	
	H153000	医学基礎Ⅰ（解剖学）	前期前半	近藤	2	基礎	
必修	M001000	アントレプレナーシップ	前期すべて	寺西	2	基礎	
	M119000	医療ビジネス・イノベーション概論	前期すべて	早乙女	2	基礎	
	M004000	契約実務演習	後期すべて	鈴木	2	基礎	
	M024000	特許法特論・演習（前期）	前期すべて	高山	2	基礎	
推奨選択	M021000	アントレプレナーシップ特論	前期集中	早乙女	2	応用	
	M025000	特許法特論・演習（後期）	後期すべて	田中	2	中級	
	M007000	知的財産法演習	後期すべて	當麻	2	中級	

	M017000	知的財産経営学基礎	前期すべて	早乙女	2	基礎	
選択	H181M01	災害時の保健医療福祉における情報管理･活用	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	H167000	QOL・PRO 評価法	後期	山本	1	中級	
	Z203M01	グローバルヘルス通論	後期すべて	中山	2	中級	
	H115000	ヘルスサイエンス研究の進め方	前期後半	中山	1	基礎	
	H032000	ベンチトレーニングコース	通年集中	原田	2	応用	
	H176000	データ解析の方法	後期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H020000	人間生態学	後期すべて	坂本	2	基礎	
	H177000	保健活動論	後期前半	近藤	2	応用	科目名変更
	H143000	健康デザイン論	通年集中	中山	1	応用	
	H171000	健康・予防医療学領域の実装科学	後期すべて	石見	2	中級	
	H178M01	健康危機管理セミナー	通年集中	今中	2	応用	2025 年度新規開講
	H130000	健康情報学Ⅰ	後期すべて	中山	2	中級	
	H151000	健康情報学Ⅱ	後期すべて	高橋	2	中級	
	H179M01	公共政策と健康危機管理	後期集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	M120000	創薬医学特論	後期	早乙女	1	応用	
	N024000	医療倫理学各論	後期	井上	2	応用	
	H103000	医療社会学・基礎	前期後半	岩隈	1	基礎	
	H175000	医療データ科学実習	前期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H079000	医薬品の開発と評価	後期後半	川上	1	中級	
	H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査	後期すべて	川上	2	応用	
	H040000	基礎人類遺伝学	前期	小川	2	基礎	
	H145000	多重性の考え方	前期前半	松井	1	中級	
	H093000	文献検索法	前期前半	高橋	1	基礎	
	H094000	文献評価法	前期後半	中山	1	基礎	
	H162000	毒性科学	通年集中	原田	2	基礎	
	H180M01	災害時の避難生活支援	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	H152000	環境・感染症論	後期すべて	山崎	2	中級	
	H159000	環境曝露・リスク評価	通年集中	原田	2	中級	
	H137000	生存時間解析	後期集中	大森	1	中級	
	H061000	社会健康医学課外実習	前期集中	所属分野の指導教員等	1 または 2	―	
	H138000	統計モデルとその応用	後期集中	大森	1	中級	
	H134000	統計家の行動基準	前期集中	松井	1	応用	
	H136000	統計的推測の基礎	前期すべて	大森	2	中級	

	H112000	臨床試験	前期すべて	田中	2	中級	
	H135000	臨床試験の統計的方法	後期前半	田中	1		
	N023000	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング	前期	小川	2	基礎	
	H142000	行政医学・産業医学	前期	今中	2	応用	
	H022000	解析計画実習	後期すべて	松井	2	応用	
	H160000	質的研究・演習	通年	岩隈	2	中級	
	H156000	質的研究入門	前期後半	中山	1	基礎	
	N017000	遺伝医学特論（集中講義）	前期集中	川崎	2	応用	
	N015000	遺伝医療と倫理・社会	前期	川崎	2	基礎	
	M009000	薬理学(医)	（春学期）	寺田	2		
	M027000	生化学(医)	（春学期）	竹内	2		
	H129000	医療の質評価	－	－	1	中級	2025 年度は開講せず
	S004000	統計遺伝学Ⅰ	－	－	2	中級	開講未定
	S005000	統計遺伝学Ⅱ	－	－	2	中級	開講未定
	H063000	フィールドワーク	－	－	2	中級	2025 年度は開講せず

［レベル］ 基礎：予備知識を必要としないレベル、中級：一定の予備知識や経験を求めるレベル、応用：社会での実践や研究へ応用できるレベル、空欄：各シラバス参照

注１：(医) は医学部医学科の科目
注２：選択科目にはこの他にも、経済学研究科、法学研究科の関連科目を個別に単位認定する可能性があるので、指導教員に確認すること。
推奨選択は必修・選択の区分に関わらずプログラムとして推奨される科目。

- 医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）と基礎人類遺伝学の両方を履修することはできない。
- 2023 年度までに「メディカル分野技術経営学概論」の単位を取得した学生は、「医療ビジネス・イノベーション概論」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2023 年度までに「ポストコロナ社会のイノベーション:展望と自由提言」の単位を取得した学生は、「レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「医療統計学」の単位を取得した学生は、「医療データ科学」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「交絡調整の方法」の単位を取得した学生は、「データ解析の方法」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「地域保健活動論」の単位を取得した学生は、「保健活動論」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「医療統計学実習」の単位を取得した学生は、「医療データ科学実習」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024 年度までに「医療倫理学各論（科目コード：N018000）」の単位を取得した学生は、「医療倫理学各論（科目コード：N024000）」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。

※ 前年度以前開講科目の科目変更については、「（別表 3）科目変更対応表」を確認すること

（別表１）課題研究及び博士課程セミナー科目コード

研究分野	科目コード		
	課題研究（専門職学位課程）	[MCR]	博士課程セミナー（博士後期課程）
医療統計学	I001000		J001000
医療疫学	I002000	L002000	J002000
薬剤疫学	I003000	L003000	J003000
ゲノム情報疫学	I004000		J004000
医療経済学	I005000	L005000	J005000
医療倫理学	I006000	L006000	J006000
健康情報学	I007000	L007000	J007000
医学コミュニケーション学	I016000		J016000
環境衛生学	I009000		J009000
健康増進・行動学	I010000	L010000	J010000
予防医療学	I011000	L011000	J011000
社会疫学	I020000		J016000
健康政策・国際保健学	I013000		J013000
環境生態学	I014000		J014000
人間生態学	I015000		J015000
知的財産経営学	M018000		
遺伝医療学（遺伝カウンセラー）	N901000		
臨床統計家育成コース（臨床統計学）	I019000		
健康危機管理システム学	I021000		J018000
健康危機管理情報解析学	I022000		J019000

（別表２）社会健康医学・臨床疫学研究（演習・実習）科目コード

科目名	科目コード
社会健康医学・臨床疫学研究（演習）	P033000
社会健康医学・臨床疫学研究（実習）	P034000

（別表 ３）科目変更対応表

科目コード	科目名（新）	科目名（旧）
令和６年度開講科目		令和５年度以前開講科目
H173M01	レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	ポストコロナ社会のイノベーション:展望と自由提言
M119000	医療ビジネス・イノベーション概論	メディカル分野技術経営学概論
令和７年度開講科目		令和６年度以前開講科目
H174000	医療データ科学	医療統計学
H176000	データ解析の方法	交絡調整の方法
H177000	保健活動論	地域保健活動論
H175000	医療データ科学実習	医療統計学実習

Ⅱ．医療経営ヤングリーダー・プログラム

（1） 医療経営ヤングリーダー・プログラムの概要

医療経営ヤングリーダー・プログラムは、高度専門職である医療経営幹部候補生およびこの領域の将来のリーダーを育成するためのプログラムであり、財務、会計、経営分析、市場分析、組織論・組織行動、組織文化の把握、質保証・業務改善、情報システム、法と倫理、関連ビジネス、政策・制度などについて学び、新たな教材や教育方法の創造にも参加し、経営実力者の人格と出会い、現場に身を置いて演習、調査、ケーススタディ等を行う。

当プログラムは、面接、審査の上、経営の素養と意欲のある人材、各年若干名を対象に開講する。ケーススタディに加えて、プロジェクト形式で、経営実例に直結する調査、分析、支援活動などを進め、情報収集、分析、妥当な計画立案、説得力ある討議、環境適応、変革･創造、行動の力を高めるべく訓練を行う。これらを通じて現実の医療経営に大いに貢献できる人材の基盤作りを行い、医療機関の将来の経営幹部、そして我が国の医療経営界において将来に主導的役割を担いうる人材の養成をめざす。

（2） 医療経営ヤングリーダー・プログラムの修了要件

① 社会健康医学系専攻専門職学位課程の修了のための要件を満たすこと

② 下記を全て履修すること

科目コード	科目名	単位	時期
H166000	医療制度・政策・経済	2	前期
H126000	保健・医療の経済評価	1	前期前半
H082000	医療経営特別カリキュラムⅠ	2	前期集中
H083000	医療経営特別カリキュラムⅡ	2	後期集中
H053000	医療経営ケーススタディ	2	通年集中
I005000	課題研究（医療経済学分野）	4	―

※前年度以前開講科目の科目変更については、「（別表）科目変更対応表」を確認すること。

□ 社会健康医学系専攻の多くの科目の選択を自ら設計して積極的に履修することを強く推奨する。

□ さらに、経営管理大学院、公共政策大学院、または経済学研究科の科目を履修することを強く推奨する。

□ また、当該分野でのセミナーに積極的に参加することが求められる。

③ 課題研究で医療経営に関わる課題に取り組むこと

照会先：医療経済学分野

Ⅲ．健康危機管理基盤プログラム

（1）　健康危機管理基盤プログラムの概要

近年、様々な災害や感染症蔓延等がより頻繁に生じている中、健康危機管理の人材育成・研究の強化が、世界的に求められるようになってきました。災害多発国である我が国では、なおさらそのニーズが高まっています。また当領域は、実践面では多様なセクターとの協働、研究面では多様な学問分野の協働が求められる領域であり、それらを実現できる人材が求められています。

そこで、様々なバックグラウンドを有し健康危機管理に貢献しようとする意思を持つ者に対し、ヘルスセキュリティセンター（CHS）は、健康危機管理の基盤力の修得を目的として、「健康危機管理基盤プログラム」を設置しています。対象は、社会健康医学系専攻を中心に、京都大学の博士後期課程、専門職学位課程、博士課程、修士課程の大学院生であり、院生の所属部局は問いません。

個々の多様な専門性を活かし健康危機管理の基盤的な専門能力を発揮できる人材を育成するプログラムです。

（2）　健康危機管理基盤プログラムの修了要件

当プログラムを修了するためには下記の中から、5科目以上（かつ7単位以上）の履修が必要です。健康危機管理セミナーは必修とし、当該セミナーの年度終盤の最終レポートとその発表をもとに、ヘルスセキュリティセンター運営委員会で合否を判断し、当プログラムの修了認定審査が行われます。この合格と在籍している学位（修士、専門職学位、博士、博士後期）課程の修了とを要件として修了証を授与します。

科目ｺｰﾄﾞ	科目名	担当	単位	備考
【研究能力の獲得】				
H178M01	健康危機管理セミナー	CHS 運営委*	2	通年集中（ﾒﾃﾞｨｱ） 必修
H161000	感染症数理モデル入門	西浦	2	集中講義
【総合知の涵養】				
H170M01	健康危機管理の制度政策と実践	今中／西浦	1	通年（ﾒﾃﾞｨｱ）
H169000	公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	中山	1	集中講義
H173M01	レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	今中／近藤／長尾／西浦	2	通年（ﾒﾃﾞｨｱ）
【実践知の涵養】				
H172000	健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	今中/厚労省 DMAT 事務局ﾒﾝﾊﾞｰ	1	集中講義
H179M01	公共政策と健康危機管理	CHS 教員**	1	後期集中（ﾒﾃﾞｨｱ）
H180M01	災害時の避難生活支援	今中	1	通年集中（ﾒﾃﾞｨｱ）
H181M01	災害時の保健医療福祉における情報管理・活用	久保	1	通年集中（ﾒﾃﾞｨｱ）

* CHS 運営委：ヘルスセキュリティセンター運営委員会
** CHS 教員：ヘルスセキュリティセンター教員

【付記】
・すでに実践や研修等の経験のある場合は、その内容に応じた科目の履修を免除しますので、CHS 運営委員会まで免除申請を行ってください。
・当プログラム登録者のうち希望者は、ヘルスセキュリティセンター運営委員会の附議を経て、厚生労働省 DMAT 事務局にて CMTP(災害等危機管理専門家養成コース:厚生労働省局長による修了証あり)での専門実務訓練を大学院に在籍しながら受けることができます(通常 2 年間のところ 1 年間で修了可)。

【参加希望登録について】
当プログラムの参加希望者は、下記の登録申請書をダウンロードして記入し、ヘルスセキュリティセンター事務局に送ってください。

https://www.chs.med.kyoto-u.ac.jp/training/kiban_prg/kiban_prg.docx

【照会先】ヘルスセキュリティセンター事務局 chs@umin.ac.jp

Ⅳ．医療技術評価（HTA）教育プログラム

（1）　医療技術評価（HTA）教育プログラムの概要

医療技術評価（HTA）教育プログラムは、医療資源の公平・効率的な配分のための意思決定支援を目的とした医療技術評価分野の専門人材を育成するためのプログラムである。本プログラムでは、社会健康医学専攻の各科目、および立命館大学の提供科目を受講することにより、医療の費用対効果評価に関する体系的な知識の習得を目指す。また、中央社会医療保険協議会（中医協）の費用対効果評価制度における公的分析業務に実際に参加し、医薬品・医療機器の費用対効果評価の分析結果のレビュー・再分析を行う。これにより、実践的な専門知識・技能を習得し、医療技術評価の分野で活躍できる人材の育成を目指す。

（2）　医療技術評価（HTA）教育プログラムの参加要件

① 社会健康医学系専攻の博士後期課程または医学専攻の博士課程に在籍していること

② 利益相反にかかる受講資格の有無につき、本プログラム運営委員会での審査・承認をうけること（費用対効果評価の対象となりうる品目に対して利益相反のある者は、原則として本プログラムの受講は認められない）

③ 社会健康医学系専攻の MPH コア６領域（コア領域１－６のすべての領域を含む。領域１と領域２は、それぞれ２単位）の単位を取得済みであること

（3）　医療技術評価（HTA）教育プログラムの修了要件

下記の立命館大学の提供科目を含む 6 単位を履修すること。

科目コード	科目名	単位	時期
－	費用対効果評価演習Ⅰ	1	前期
－	費用対効果評価特論Ⅰ	1	後期
－	費用対効果評価演習Ⅱ	1	前期*
－	費用対効果評価特論Ⅱ	1	後期*
H167000	QOL・PRO 評価法	1	後期
H126000	保健・医療の経済評価	1	前期前半

*なお、費用対効果評価演習Ⅱおよび費用対効果評価特論Ⅱは 2025 年度不開講

□ 本プログラム修了後も、公的分析業務の中心メンバーとして参加することを推奨する。

□ 本プログラムが提供するセミナーや関連する勉強会等に積極的に参加することが求められる。

照会先：医療疫学分野

医学研究科 社会健康医学系専攻 専門職学位課程 コースツリー

コースツリーの見方：図の下部からコア→基礎→中級→応用と積み上げてゆき、最終的に「課題研究」を経てDPを達成する

座学

実習・演習

作成日：2025年2月28日

全体DP：「社会における人間」の健康や疾病に関わる問題を探知・評価・分析・解決する知識、技術、態度を有する高い素養を身につける

専門職学位課程 DP：

1．社会健康医学に関わる実務・政策・調査・教育において、専門的かつ指導的役割を果たすことができる
2．人々の健康に関わる経済・環境・行動・社会的要因について知識を深め、新しい知識と技術を生み出すことができる
3．生み出した新しい知識と技術を健康・医療に関わる現実社会の実践、方策と政策に還元できる
4．社会健康医学に関わる各専門の知識と技術をもって、個人・組織・地域・国・世界レベルで貢献できる

GCコース DP:
先端医療に対応できる高度な専門的知識とコミュニケーション能力を持ち、患者・家族の立場を理解して遺伝医療におけるインターフェースとなる能力を身につける

CBコース DP:
臨床研究の科学的な質を保つために必要な統計学基礎・臨床統計学の知識、臨床統計家に求められる技術、臨床研究の倫理的な質を保つために必要な知識・態度を身につける

知財プログラム DP:
生命科学分野における知的財産経営、技術経営に関する問題解決能力、実践・実務能力、及び、高度な専門性を身につける

専門職学位課程 1～2年次（MCRコース、1年制MPHコースは1年次）

課題研究（MCRコース・GCコース・CBコース・各種プログラムを含む、専門職学位課程全学生必修）

社会健康医学におけるコア6領域の科目群（エビデンスの活用の科目群を除く）

疫学
- 中級：臨床試験(MCR・CB)
- 中級：質的研究・演習
- 中級：QOL・PRO評価法
- 基礎：質的研究入門
- 基礎：ﾍﾙｽｻｲｴﾝｽ研究の進め方
- 基礎：人間生態学

医療統計
- 応用：解析計画実習
- 応用：データ解析の方法
- 中級：医療データ科学実習
- 基礎：統計遺伝学Ⅰ・Ⅱ

環境・感染症
- 応用：ベンチトレーニングコース
- 中級：環境・感染症論
- 中級：環境曝露・リスク評価
- 基礎：毒性科学

政策・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ
- 行政医学・産業医学
- 医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査
- 地域保健活動論
- 医薬品の開発と評価

行動科学・倫理
- 医療倫理学各論(GC)
- 健康デザイン論
- 健康・予防医療学領域の実装科学
- 医療社会学・基礎

健康危機管理
- 感染症数理モデル入門
- 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ
- 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション

MCRコース DP: 臨床研究を支える基本理論・知識・実践技術に習熟し、医療者としてのリサーチ・クエスチョンを解決するために、研究プロトコールの作成、研究の実施・マネジメント、データの解析、解釈、論文化を独力でできる（或いは、適切な時期に専門家に適切な相談・照合ができる）

MCRコース（MCR: 臨床研究者養成）
- 社会疫学研究法（MCR限定）
- 臨床研究計画法Ⅰ・Ⅱ/演習Ⅰ・Ⅱ（MCR限定）
- 臨床研究特論（MCR限定）
- 臨床研究ﾃﾞｰﾀ管理学（MCR限定・CB限定）
- ﾃﾞｰﾀ解析法特論（MCR限定）
- 医療技術の経済評価（MCR限定）

エビデンスの活用
- EBM・診療ガイドライン特論（MCR限定）
- 系統的レビュー（MCR限定）
- 文献評価法(GC/MCR)
- 文献検索法(GC)
- 健康情報学Ⅰ・Ⅱ
- グローバルヘルス通論

コア（選択）必修

コア領域1
- 疫学Ⅰ（疫学入門）（コア必修）
- 疫学Ⅱ（研究ﾃﾞｻﾞｲﾝ）（コア必修）

コア領域2
- 医療データ科学（コア必修）

コア領域3
- 感染症疫学
- 産業・環境衛生学

コア領域4
- 医療制度・政策・経済
- 社会健康医学と健康政策
- 医薬政策・行政(GC)
- 保健・医療の経済評価

コア領域5
- 行動科学
- 基礎医療倫理学(GC)
- 医学コミュニケーション基礎
- 社会疫学

コア領域6
（上記３科目もコア選択必修）
- 健康危機管理の制度政策と実践
- レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言

GCコース
GC: 遺伝カウンセラー
- 遺伝医学特論
- 基礎人類遺伝学演習（GC限定）
- 臨床遺伝学演習（GC限定）
- 遺伝ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ演習１・２（GC限定）
- 遺伝ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ実習１・２（GC限定）
- 基礎人類遺伝学
- 臨床遺伝学・遺伝ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ
- 遺伝ｶｳﾝｾﾗｰｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ概論(GC限定)
- 遺伝医療と倫理・社会
- 遺伝サービス情報学
- ゲノム科学と医療

CBコース
CB: 臨床統計家育成
- 統計モデルとその応用
- 生存時間解析(CB)
- 臨床試験の統計的方法
- 臨床研究実地研修I・II（CB限定）
- 統計家の行動基準（CB）
- 統計的推測の基礎（CB）
- 統計的推測の基礎・演習（CB限定）
- メタアナリシス（CB）
- 多重性の考え方（CB）
- 臨床統計家の実務ｽｷﾙ（CB限定）

知財プログラム
知財: 知的財産経営学
- ｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰｼｯﾌﾟ特論
- 創薬医学特論
- 知的財産法演習
- 特許法特論・演習（前期）（後期）
- 契約実務演習
- ｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰｼｯﾌﾟ
- 知的財産経営学基礎
- 医療ビジネス・イノベーション概論
- （生命科学系以外）薬理学

医療経営ヤングリ－ダ－プログラム
- 医療経営特別カリキュラムⅠ
- 医療経営特別カリキュラムⅡ
- 医療経営ｹｰｽｽﾀﾃﾞｨ

その他科目
医学基礎領域：
医療系学部等以外出身者必修
- 医学基礎Ⅰ
- 医学基礎Ⅱ
- 臨床医学概論

社会健康医学課外実習（インターンシップ）

健康危機管理基盤プログラム DP：
健康危機管理に関する問題解決能力、実践能力、研究能力を身につける。実践面では多様なセクターと、研究面では多様な学問分野と協働する能力を身につける

健康危機管理基盤プログラム
[コア領域６の選択必修科目と下記より５科目7単位以上]
- 健康危機管理セミナー（必修）
- 公共政策と健康危機管理
- 災害時の避難生活支援
- 災害時の保健医療福祉における情報管理･活用

医学研究科 社会健康医学系専攻 博士後期課程　コースツリー

作成日：2025年2月28日

全体DP:
「社会における人間」の健康や疾病に関わる問題を探知・評価・分析・解決するために必要な学術課題を考究する素養を身につける

博士後期課程DP：
1．社会健康医学に関わる実務・政策・調査・教育において、**高度に**専門的かつ指導的役割を果たすことができる
2．人々の健康に関わる経済・環境・行動・社会的要因について**高度な**知識を深め、新しい知識と技術を生み出すことができる
3．生み出した新しい知識と技術を健康・医療に関わる現実社会の**高度な**実践方策と**高度な**政策に還元できる
4．社会健康医学に関わる各専門の**高度な**知識と技術をもって、個人・組織・地域・国・世界レベルで貢献できる

博士後期課程1～3年次

【３年次】博士論文

博士課程セミナー

社会健康医学・臨床疫学研究（演習・実習）

各自の到達目標に合わせ本専攻専門職学位課程の各科目を履修することができる

以下の各科目について、本専攻専門職学位課程からの進学者は履修する必要はない

社会健康医学におけるコア6領域の科目群

コア(選択)必修

疫学
コア領域1
- 疫学Ⅰ（疫学入門）（コア必修）
- 疫学Ⅱ（研究ﾃﾞｻﾞｲﾝ）（コア必修）

医療統計
コア領域2
- 医療データ科学（コア必修）

環境・感染症
コア領域3
- 感染症疫学
- 産業・環境衛生学

政策・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ
コア領域4
- 医療制度・政策・経済
- 社会健康医学と健康政策
- 医薬政策・行政(GC)
- 保健・医療の経済評価
- 健康危機管理の制度政策と実践

行動科学・倫理
コア領域5
- 行動科学
- 基礎医療倫理学
- 医学コミュニケーション基礎
- 社会疫学

健康危機管理
コア領域6
- 感染症数理モデル入門
- 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ
- レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言
- 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション
- 健康危機管理の制度政策と実践

医学基礎領域
(医療系学部等以外出身者)
- 医学基礎Ⅰ
- 医学基礎Ⅱ
- 臨床医学概論

左記のコア6領域について、コア必修およびコア3～6の各領域から1単位以上合計7単位を修得することを修了の要件とする。

◇ 社会健康医学系専攻　2025年度　前期時間割（4～9月）：全教科

	月			火		水				木			金		
1限 8:45～10:15				行動科学 （前期前半） 〔A〕	【MCR限定】 社会疫学研究法 （前期後半） 〔先端〕	質的研究入門 （前期後半） 〔A〕				【GC限定必修】 遺伝カウンセラーコミュニケーション概論 （1年次） 〔演習〕	【政策のための科学限定選択】 現代社会と科学技術 A 〔B〕		疫学Ⅱ （前期前半） 〔A〕		
2限 10:30～12:00	医学コミュニケーション基礎 （前期前半） 〔演習〕	医療社会学・基礎 （前期後半） 〔演習〕		医療データ科学 〔A〕		医療制度・政策・経済 〔A〕		遺伝医療と倫理・社会 （1年次） 〔演習〕		産業・環境衛生学 （前期前半） 〔A〕	感染症疫学 （前期後半） 〔A〕				多重性の考え方 〔前期前半〕 〔演習〕
3限 13:15～14:45	医学基礎Ⅰ（生理学） （前期前半） 〔人間健康第９〕	社会疫学 〔先端〕	産業保険と労働関連法 〔B〕	医療データ科学実習 〔演習〕		医学基礎Ⅰ（解剖学） （前期前半） 〔人間健康第９〕	医療技術の経済評価 （前期前半） 〔A〕	質的研究・演習 〔B〕	医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）基礎人類遺伝学 （1年次） 〔演習〕	社会健康医学と健康政策 〔A〕			疫学Ⅰ （前期前半） 〔A〕	ヘルスサイエンス研究の進め方 （前期後半） 〔A〕	統計家の行動基準 〔演習〕
4限 15:00～16:30		文献検索法 （前期前半） 〔A〕	文献評価法 （前期後半） 〔A〕				保健・医療の経済評価 （前期前半） 〔A〕	毒性科学 〔先端〕	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング （1年次） 〔演習〕	【MCR限定必修】 臨床研究計画法演習I 〔A〕	統計的推測の基礎 〔演習〕				
5限 16:45～18:15	【MCR限定必修】 臨床研究計画法I 〔A〕	【CB限定】 臨床統計家の実務スキル 〔演習〕				臨床試験 〔先端〕	健康危機管理セミナー 〔C/D〕			基礎医療倫理学 〔1年次、前期前半〕 〔A〕	健康危機管理の制度政策と実践 （通年） 〔オンライン〕	【CB限定】 統計的推測の基礎・演習 〔前期〕 〔演習〕	【GC限定必修】 遺伝カウンセリング演習1・2 （通年） 〔A〕	レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言 （通年） 〔オンライン〕	
6限 18:30～20:00	【MCR限定選択】 データ解析法特論 （前期後半） 〔演習〕	アントレプレナーシップ 〔iHK〕		知的財産経営学基礎 〔MIC〕		特許法特論・演習 （前期） 〔MIC〕				医療ビジネス・イノベーション概論 〔MIC〕		【CB限定】 統計的推測の基礎・演習 〔前期〕 〔演習〕			

〔A〕G棟2F　セミナー室 A
〔B〕G棟2F　セミナー室 B
〔C/D〕G棟2F　セミナー室 C/D
〔演習〕G棟3F　演習室
〔先端〕先端科学研究棟1F　セミナー室
〔MIC〕 メディカルイノベーションセンター
（医学部付属病院西構内）
[iHK] 医薬系総合研究棟3階
[CHS]ヘルスセキュリティセンター

集中講義、随時など：
【領域6】 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション
【領域6】 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ
【MPH選択】 質的研究・演習 （通年・集中）
【MPH選択】 遺伝医学特論 （前期・集中）
【MPH選択】 社会健康医学課外実習 （前期・集中）
【MPH選択】 健康デザイン論 （通年・集中）
【MPH選択】 感染症数理モデル入門 （前期・集中）
【MPH選択】 行政医学・産業医学 （前期・集中）
【MPH選択・知財選択】 アントレプレナーシップ特論 （前期・集中）
【健康危機管理基盤プログラム選択必修】 災害時の避難生活支援 （通年）
【健康危機管理基盤プログラム選択必修】 災害時の保健医療福祉における情報管理・活用（通年）
【健康危機管理基盤プログラム必修】 健康危機管理セミナー（通年．4/14と2/9の1・2限はC/D対面）

限定科目：
【CB限定必修】 臨床研究実地研修Ⅰ（通年・集中）
【CB限定必修】 臨床研究実地研修Ⅱ（通年・集中）
【CB/MCR限定】 メタアナリシス （前期・集中）
【医療経営ﾔﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ限定】 医療経営ケーススタディ（通年・集中）
【医療経営ﾔﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ限定】 医療経営特別カリキュラムⅠ（前期・集中）
【政策のための科学限定選択】 科学技術コミュニケーション演習 （通年）
【政策のための科学限定必修】 研究プロジェクト（通年）
【政策のための科学限定必修】 科学技術イノベーション政策総合演習 （夏季・集中）
【政策のための科学限定選択】 科学技術イノベーション政策特別演習 （夏季・集中）
【政策のための科学限定選択】 政策のための研究方法論 （前期・不定期）

◇ 社会健康医学系専攻　2025年度　後期時間割（10～3月）：全教科

	月		火	水			木		金			
1限 8:45～10:15				医学基礎Ⅰ （神経生理学） （後期後半） 〔人間健康第9〕			【GC限定必修】 遺伝カウンセラーコミュニケーション概論 （1年次） 〔演習〕		【MCR限定選択・CB限定必修】 臨床研究データ管理学 （後期前半） 〔B〕			
2限 10:30～12:00	【MCR限定選択】 系統的レビュー 〔A〕		データ解析の方法 〔A〕		医薬政策・行政 （後期前半） 〔A〕	医薬品の開発と評価 （後期後半） 〔A〕	医学基礎Ⅱ 〔A〕	健康・予防医療学領域の実装科学 〔演習〕	健康情報学Ⅰ 〔A〕			
3限 13:15～14:45	QOL・PRO評価法 〔A〕	環境・感染症論 〔東南アジア地域研究研究所・稲盛財団記念館セミナー室 I213〕	解析計画実習 〔演習〕	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査 〔演習〕	質的研究・演習 〔B〕	グローバルヘルス通論 〔先端〕	保健活動論 （後期前半） 〔先端〕	ゲノム科学と医療 〔南部総合研究棟〕	健康情報学Ⅱ 〔演習〕	医療倫理学各論 〔C/D〕	【MCR限定選択】 EBM・診療ガイドライン特論 〔演習〕	
4限 15:00～16:30	人間生態学 〔東南アジア研究所・東棟E202〕	【MCR限定選択】 臨床研究計画法演習Ⅱ 〔A〕			臨床医学概論 〔先端〕			【政策のための科学限定必修】 現代社会と科学技術B 〔B〕			〔選択必修〕 公共政策と健康危機管理 〔オンライン〕	
5限 16:45～18:15	【MCR限定必修】 臨床研究計画法Ⅱ 〔A〕		契約実務演習 〔MIC〕	臨床試験の統計的方法 （後期前半） 〔B〕	【GC限定必修】 基礎人類遺伝学演習 （1年次） 〔演習〕	健康危機管理セミナー 〔C/D〕	健康危機管理の制度政策と実践 （通年） 〔オンライン〕	【GC限定必修】 臨床遺伝学演習(ロールプレイ演習) 〔演習〕	【GC限定必修】 遺伝カウンセリング演習1・2 （通年） 〔A〕		環境曝露・リスク評価 〔先端〕	レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言 （通年） 〔オンライン〕
6限 18:30～20:00	【MCR限定選択】 臨床研究特論 石見 〔A〕	知的財産法演習 〔MIC〕		特許法特論・演習 （後期） 〔MIC〕								

〔A〕 G棟2F　セミナー室 A
〔B〕 G棟2F　セミナー室 B
〔C/D〕 G棟2F　セミナー室 C/D
〔演習〕 G棟3F　演習室
〔先端〕 先端科学研究棟1F　セミナー室
〔MIC〕 メディカルイノベーションセンター
（医学部付属病院西構内）]
[CHS]ヘルスセキュリティセンター

集中講義・随時など：
【MPH選択】 質的研究・演習 （通年・集中）
【MPH選択】 健康デザイン論 （通年・集中）
【MPH選択】 ベンチトレーニングコース （後期・集中）
【MPH選択】 生存時間解析 （後期・集中）
【MPH選択】 統計モデルとその応用 （後期・集中）
【領域6】公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション（通年 ・ 集中）
【知財選択】創薬医学特論　（後期 ・ 不定期）
【健康危機管理基盤プログラム選択必修】 災害時の避難生活支援 （通年）
【健康危機管理基盤プログラム選択必修】 災害時の保健医療福祉における情報管理・活用（通年）
【健康危機管理基盤プログラム必修】 健康危機管理セミナー（通年．4/14と2/9の1・2限はC/D対面）

限定科目：
【医療経営ﾔﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ限定】 医療経営ケーススタディ（通年・集中）
【医療経営ﾔﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ限定】 医療経営特別カリキュラムⅡ（後期・集中）
【政策のための科学限定選択】科学技術コミュニケーション演習（通年）
【政策のための科学限定必修】研究プロジェクト（通年）
【CB限定必修】 臨床研究実地研修Ⅰ（通年・集中）
【CB限定必修】 臨床研究実地研修Ⅱ（通年・集中）
【GC限定】 遺伝カウンセリング実習1・2　（通年・随時）